

～イメクラ編～

風俗嬢のオツトメ

藤沢めぐみ

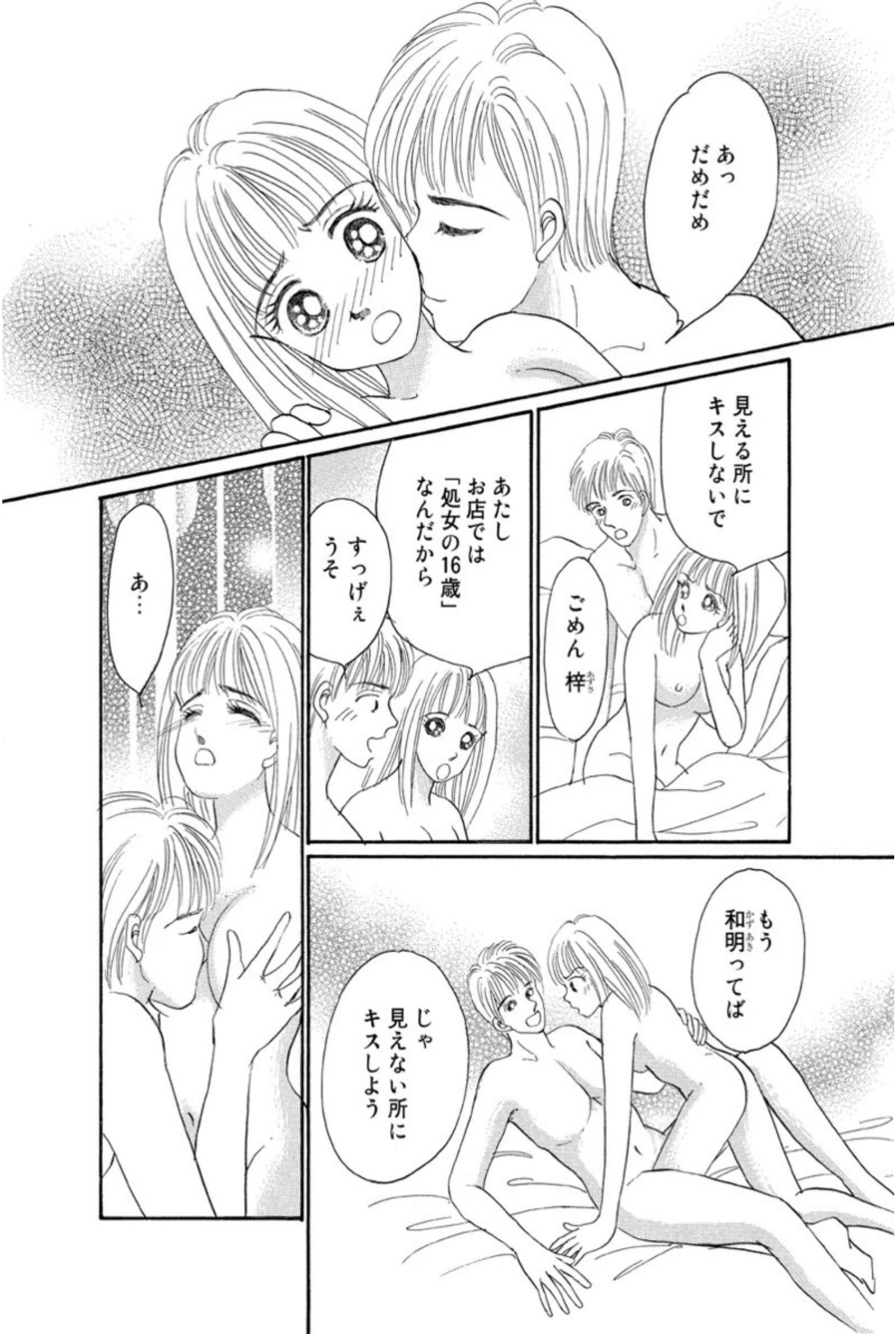
M.FUJISAWA presents

CONTENTS［目次］

キスキスキス
ヘルプな気分
あなたのための私
あなたに出会うまで
HAPPY DAYS

キスキスキス



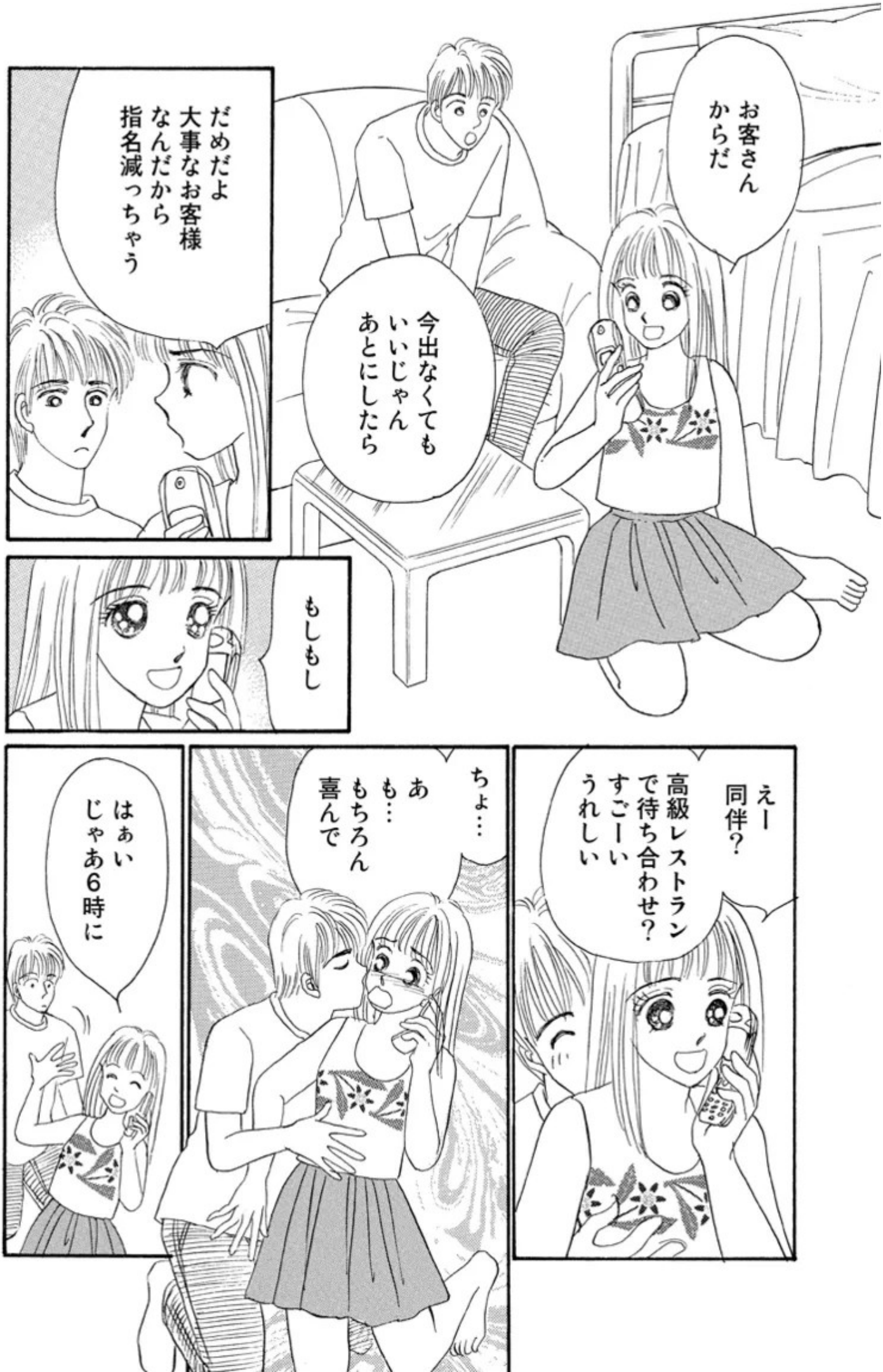

あっ
だめだめ
見える所に
キスしないで
ごめん 梓(あず)
あたし
お店では
「処女の16歳」
なんだから
すっげぇ
うそ
あ…
もう
和明(かずあき)ってば
じゃ
見えない所に
キスしよう

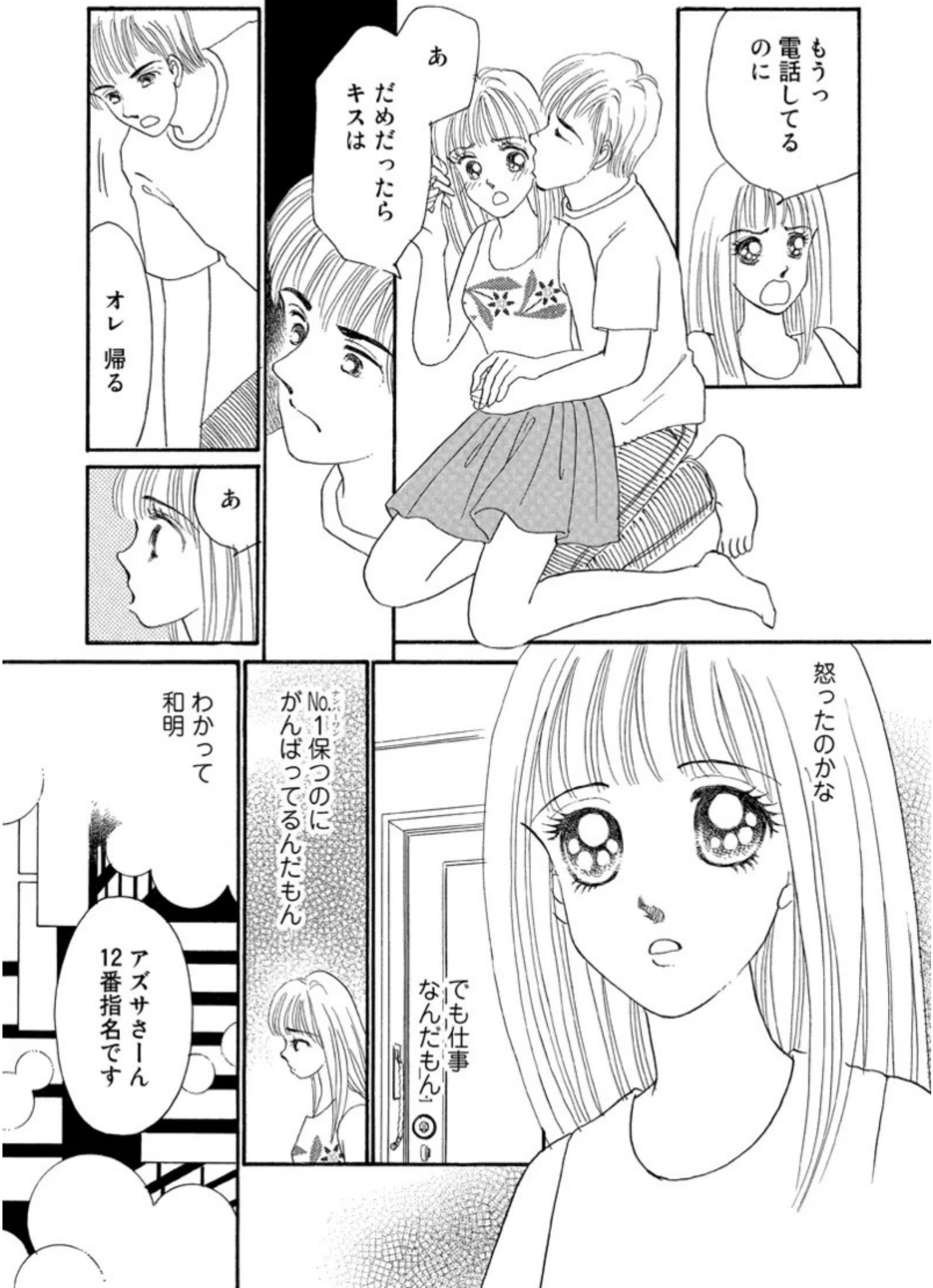

あ…
あ…
実生活は
20歳
彼氏あり
ここでは
イメクラ
学園
PUB
彩華
いらっしゃいませぇ
おっ 今日も
セーラー服が
かわいいねぇ
アズサちゃん
16歳
女子高生
もちろん
彼氏なし

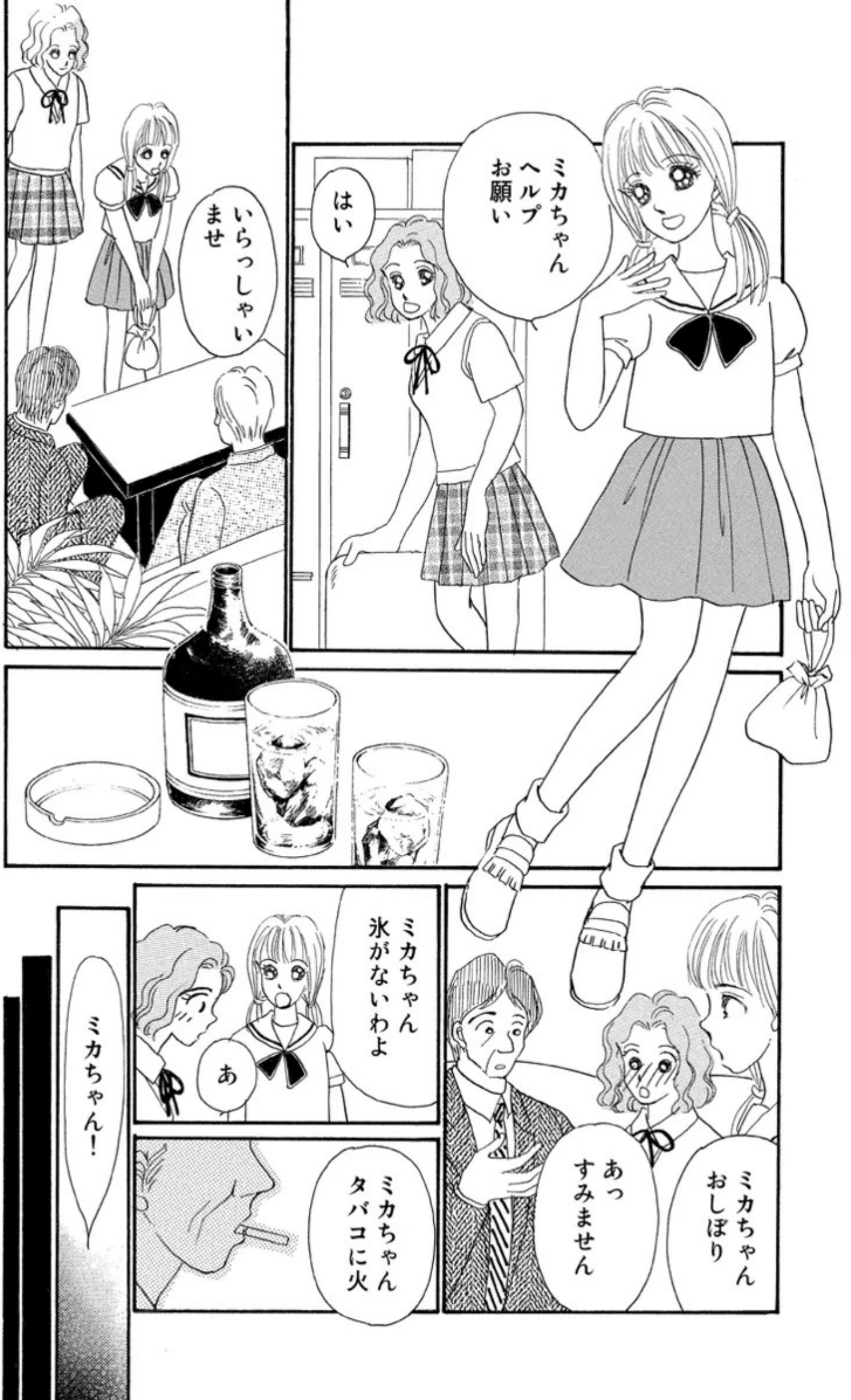

ありがとう
じゃあ ボトル
入れてもいい？
いいよ
いいよ
好きなの
入れなさい
でも
女子高生が
酒飲んで
いいのかなぁ
お触り禁止
ですよぉ
いや ついね


アズサちゃんの
足かわいくて
いいじゃないか
ちょっとくらい
…って言って
エロおやじが
触るのよ足
長くすりゃ
いいじゃん
スカート

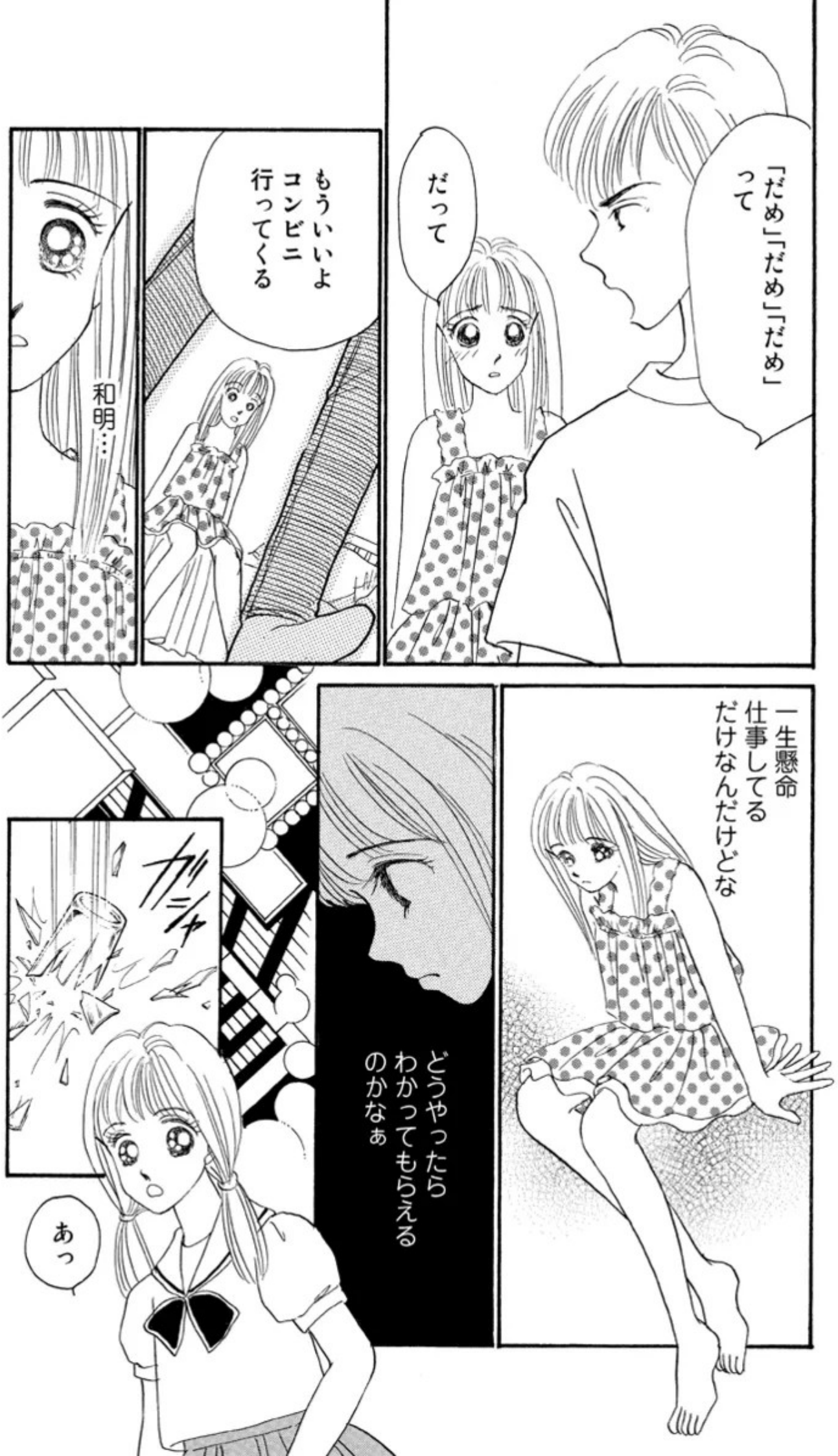

でも
これが
ウケてんだもん
10㎝短いと
チップが千円
UPするの
短すぎるよ
もうちょっと
短くしようと
思ってるのに
だめ
だめ
え
和明!!
ほら
これでもう
短くできない


お客さん
からだ
今出なくても
いいじゃん
あとにしたら
だめだよ
大事なお客様
なんだから
指名減っちゃう
もしもし
えー
同伴？
高級レストラン
で待ち合わせ？
すごーい
うれしい
ちょ…
あ
も…
もちろん
喜んで
はぁい
じゃあ6時に

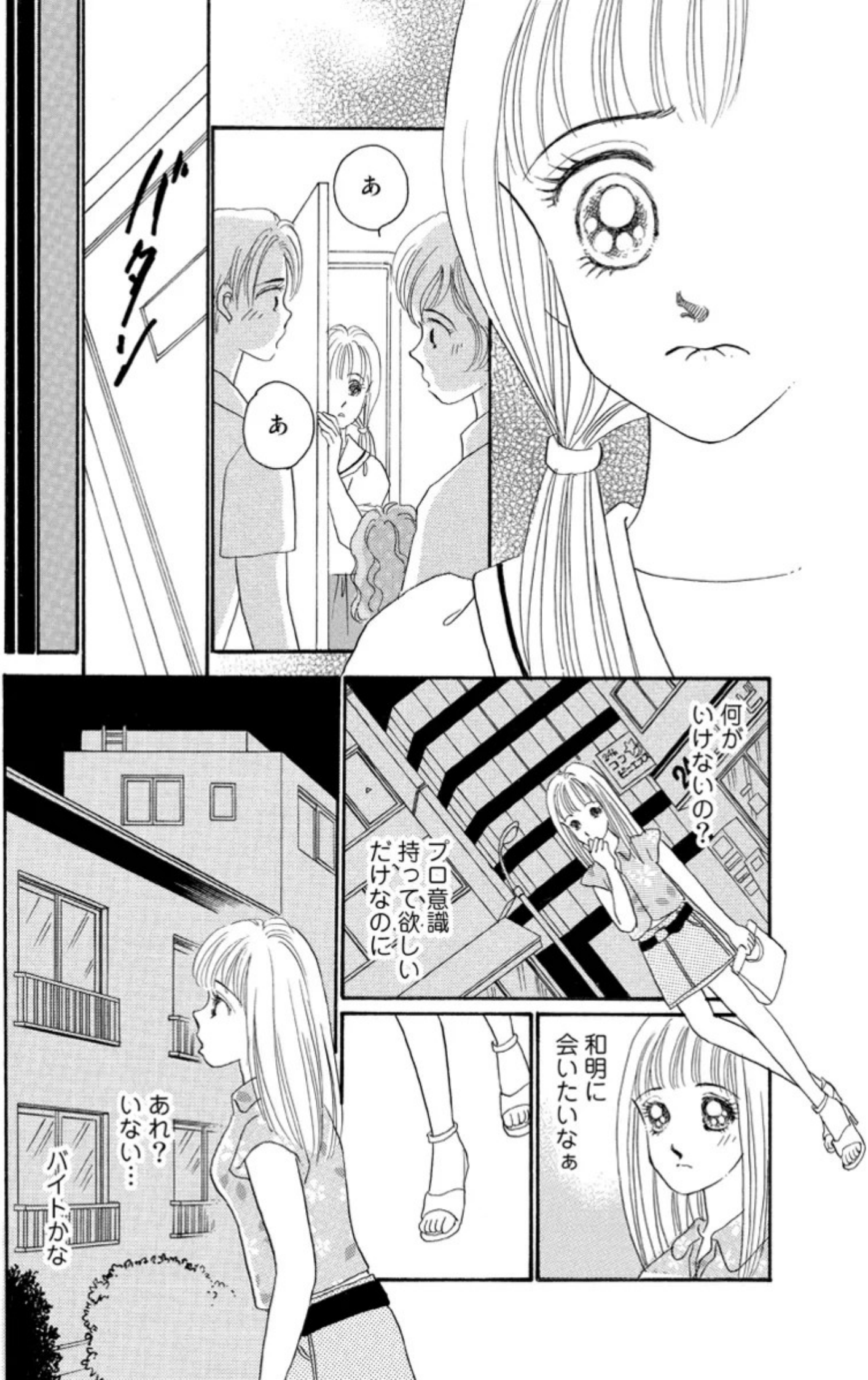

もうっ
電話してる
のに
あ
だめだったら
キスは
オレ 帰る
あ
怒ったのかな
でも仕事
なんだもん
No.1(ナンバーワン)保つのに
がんばってるんだもん
わかって
和明
アズサさーん
12番指名です

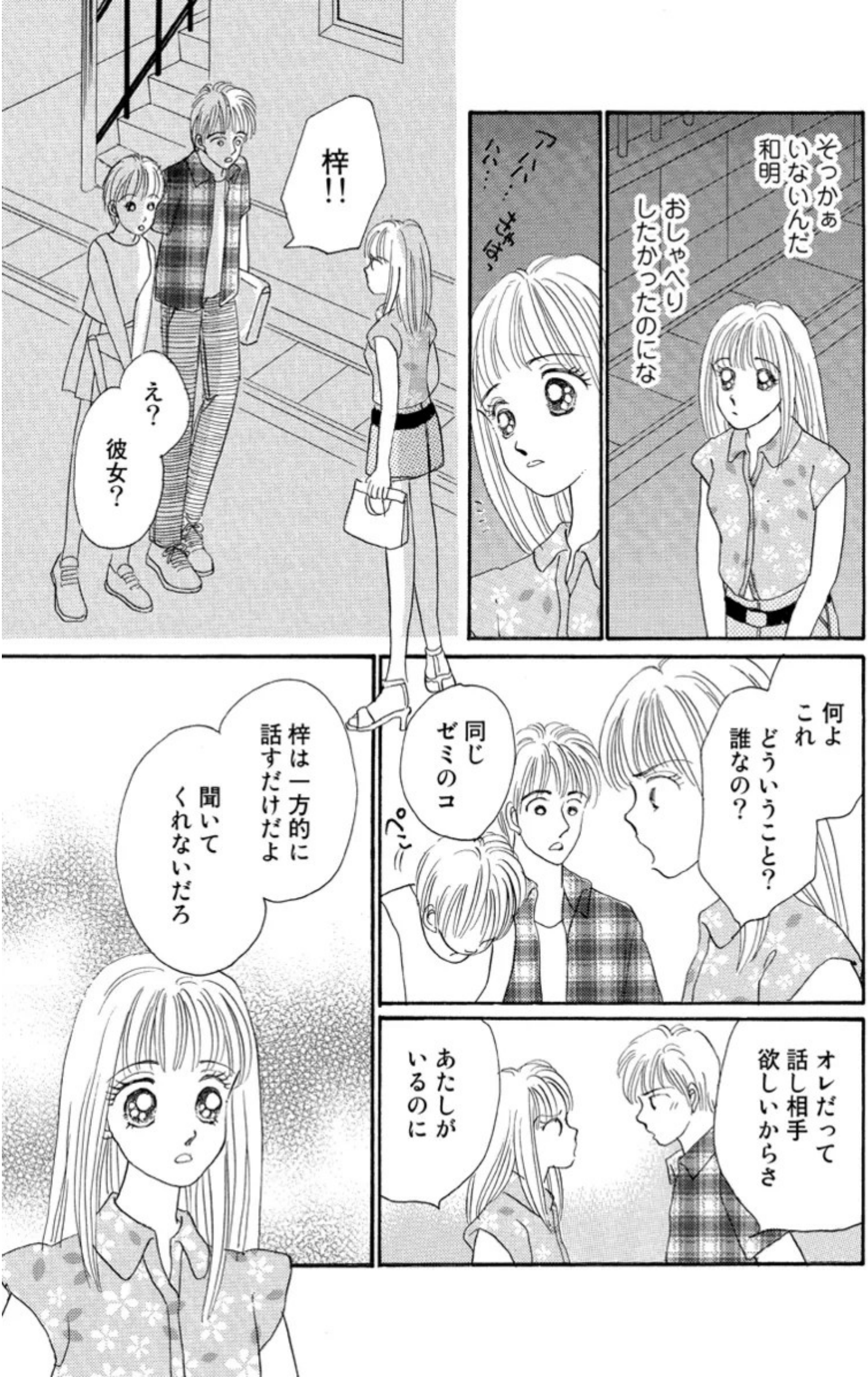

ミカちゃん
ヘルプ
お願い
はい
いらっしゃいませ
ミカちゃん
おしぼり
あっ
すみません
ミカちゃん
タバコに火
ミカちゃん
氷がないわよ
あ
ミカちゃん！

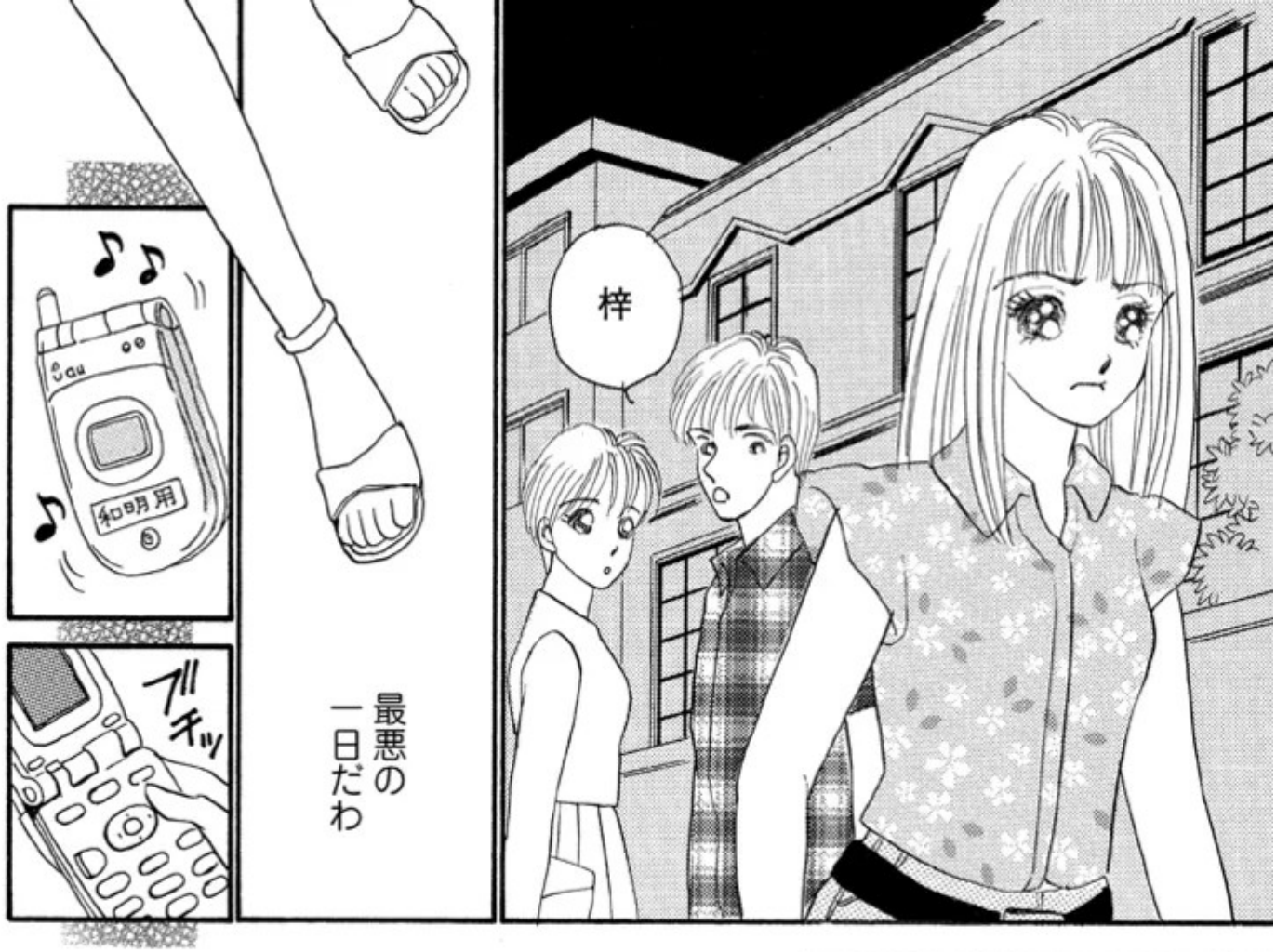

あー
疲れたぁ
今日のヘルプ
サイテー
なんだよ
来るなり
グチ？
だって
ほんとに
サイテーだった
んだもん
もう店入って
1か月なのに
人それぞれ
だよ
和明は
あたしの味方
じゃないの
味方だよ
あ
キスも
キスマークも
だめだよ！
盛り上がると
いつもこう
なるんだよな

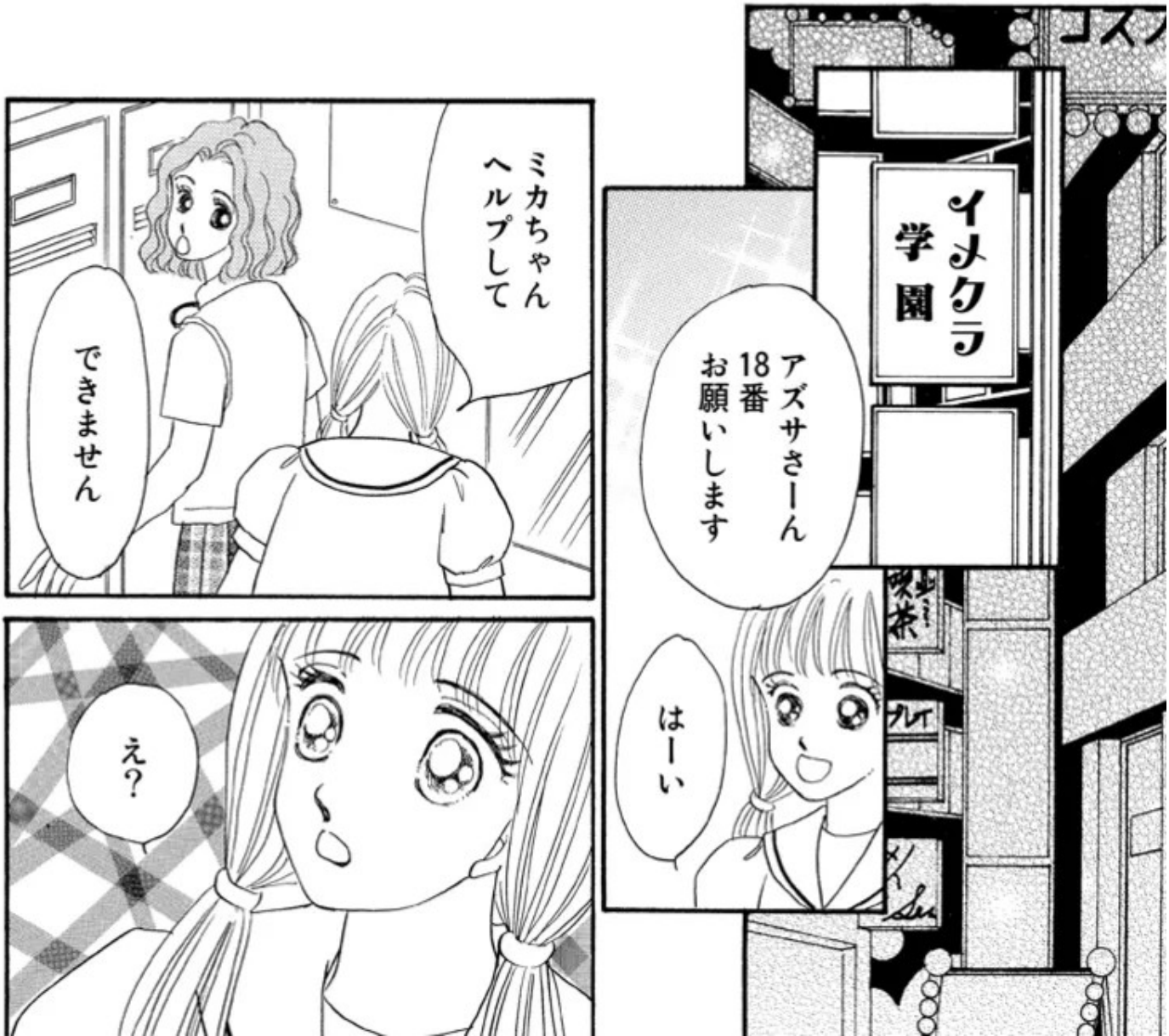

「だめ」「だめ」「だめ」って
だって
もういいよ コンビニ 行ってくる
和明…
一生懸命 仕事してる だけなんだけどな
どうやったら わかってもらえる のかなぁ
ガシャ
あっ


だめじゃないリコちゃん
もうちょっとしっかりして
すみません
おいおい僕はこんなの頼んでないぞ
すみません
こういうヘルプじゃ仕事に集中できないよ
はぁ
もーうアズサさんて何様のつもりぃ嫌な女
怒ってばかりよねそうそう
ヘルプやんなっちゃう


バタン
あ
あ
和明に
会いたいなぁ
何が
いけないの？
プロ意識
持って欲しい
だけなのに
あれ？
いない…
バイトかな


そっかぁ
いないんだ
和明
おしゃべり
したかったのにな
ハーイ…
さようなら
梓!!
え?
彼女?
何よ
これ
どういうこと?
誰なの?
同じ
ゼミのコ
ペこ
オレだって
話し相手
欲しいからさ
あたしが
いるのに
梓は一方的に
話すだけだよ
聞いて
くれないだろ

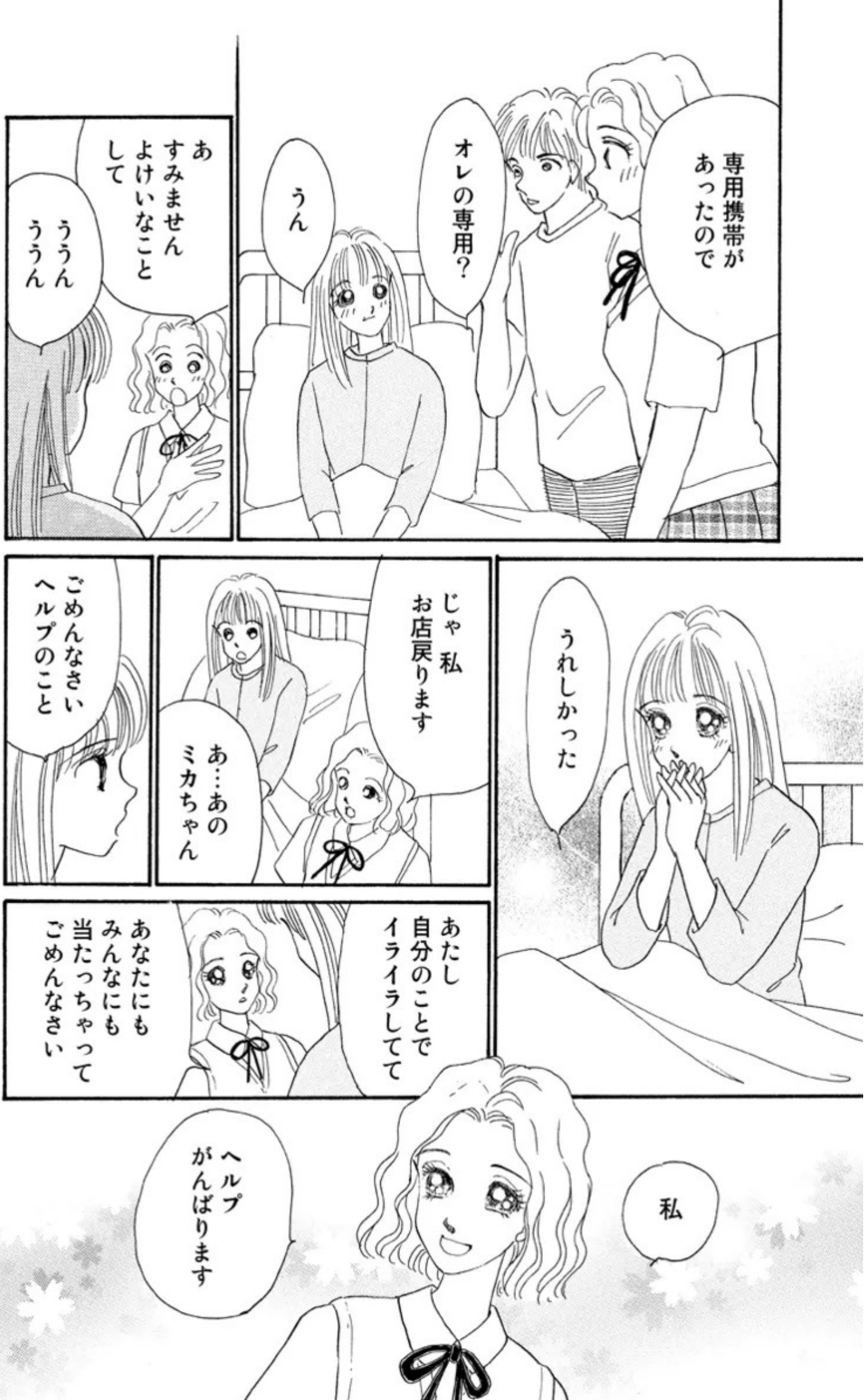

梓
最悪の
一日だわ
和明用
ブチッ


イメクラ
学園
アズサさーん
18番
お願いします
はーい
ミカちゃん
ヘルプして
できません
え？


私 役に立ちま
せんから
リコちゃん
無理でぇーす
レナ…
プイ
あっそう
そうなの
もう
誰にも
頼らない
いらっしゃいませ
ひとりで
やるわよ
アズサさーん
指名です
5番
アズサさーん
7番


アズサさーん
アズサさーん
はーい
アズサさーん
お見送り
お願いしまーす
きゃあああ
アズサさん!!


――さ
――ずさ
あずさ
あ
大丈夫か？
あれ？
あたし
動くなよ
階段から
落ちたんだ
あ…
そっか…
どうして
和明が
ここに？
あの
私が


専用携帯があったので
オレの専用？
うん
あすみません よけいなことして
ううんううん
うれしかった
じゃ私お店戻ります
あ…あのミカちゃん
ごめんなさいヘルプのこと
あたし自分のことでイライラしててあなたにもみんなにも当たっちゃってごめんなさい
私
ヘルプがんばります


何？
いきなり
変わったから
頭打ったのかな
と思って
もうっ


今なら
ちゃんと 話
聞いてくれそう
だね
え？


きのうの
あのコは
ほんとに
ただの
ゼミ友達だよ


最近の梓
話聞いて
くれないし
キスも
だめだし
和明


恋人って感じ
しなくて
あせっちゃって

誰かに
話聞いて
欲しかったんだ

あ…

あたし
自分のこと
ばかり
考えてた

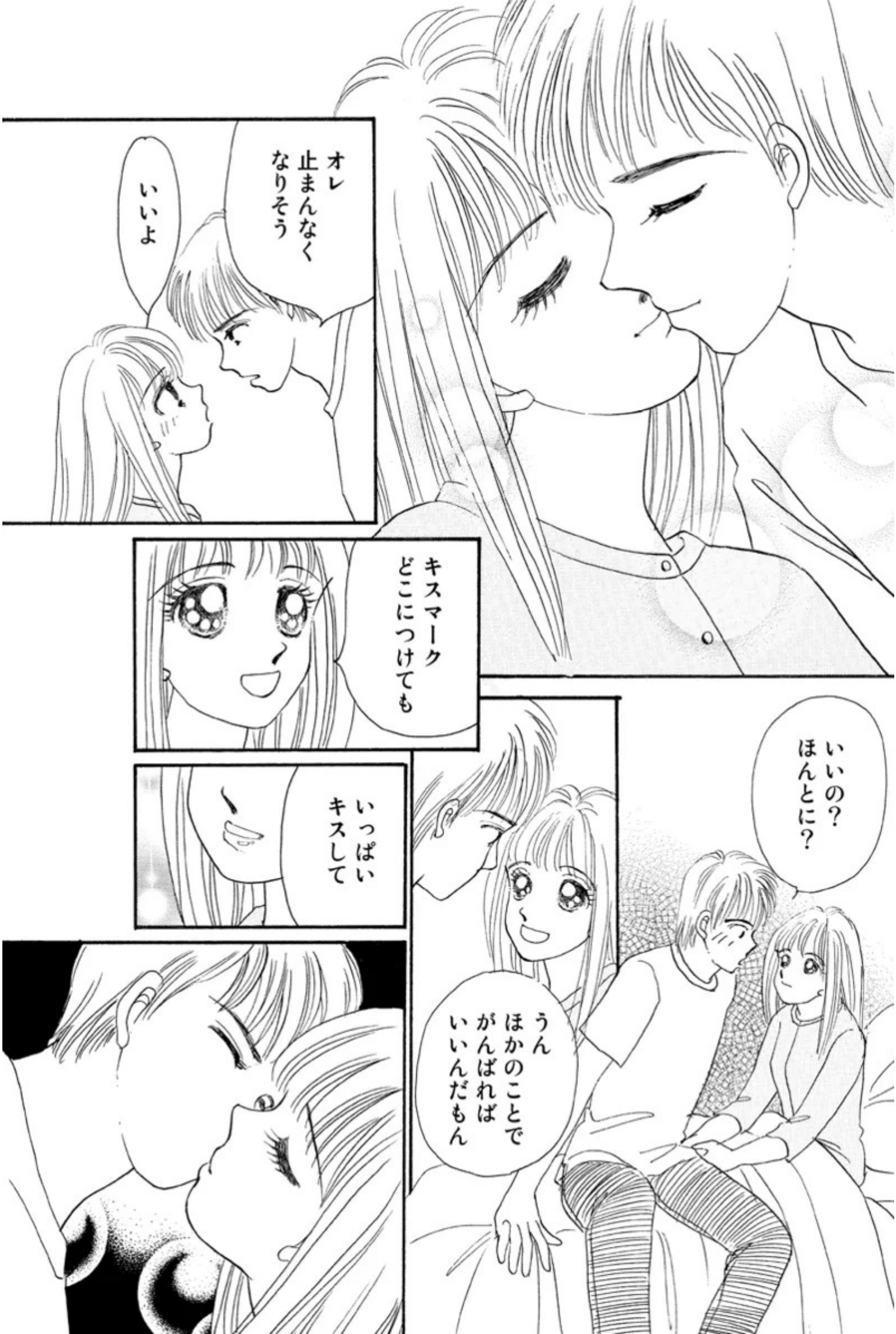
何？

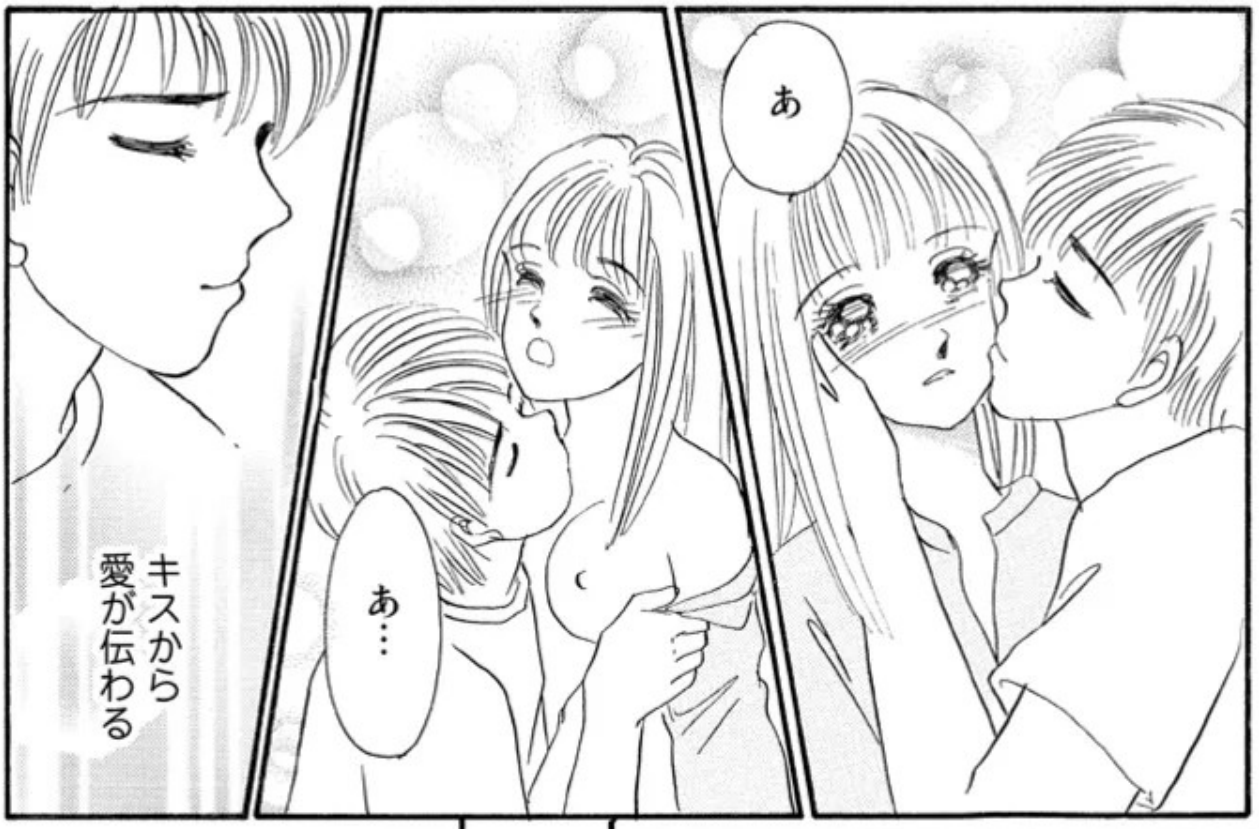
あたし
いっぱい
謝らなきゃ

お店の人にも
和明にも

和明には
いっぱい
いーっぱい
ごめんなさい
しなきゃ

キスで
許すよ


いいの？
ほんとに？
うん
ほかのことで
がんばれば
いいんだもん
いっぱい
キスして
キスマーク
どこにつけても
オレ
止まんなく
なりそう
いいよ


あ
あ…
キスから
愛が伝わる

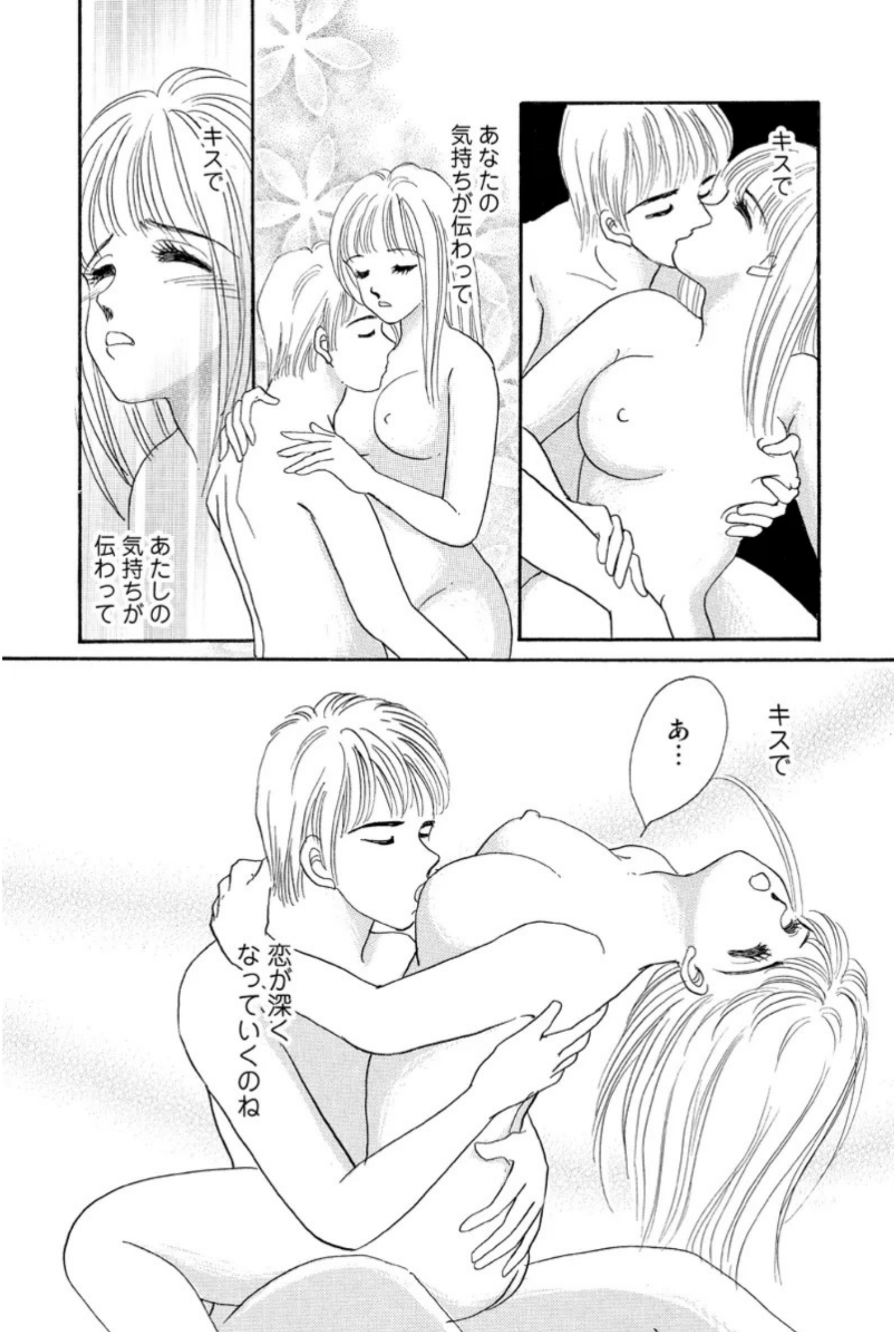

あたし
バカだったわ
こんなに
うれしいしるし
嫌がったりして


あ


どうですか？
おや これは

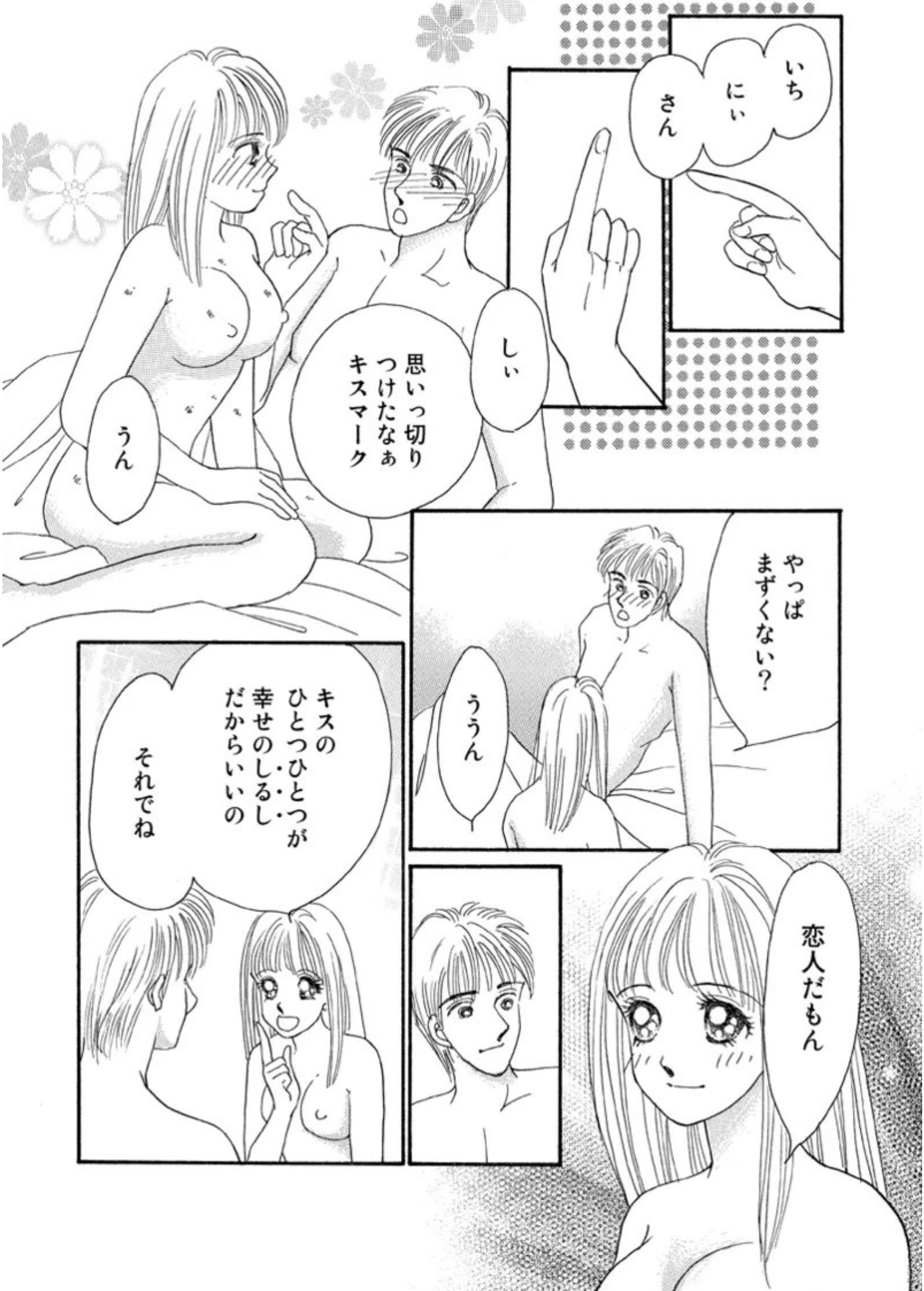

もう元気
みたいですな

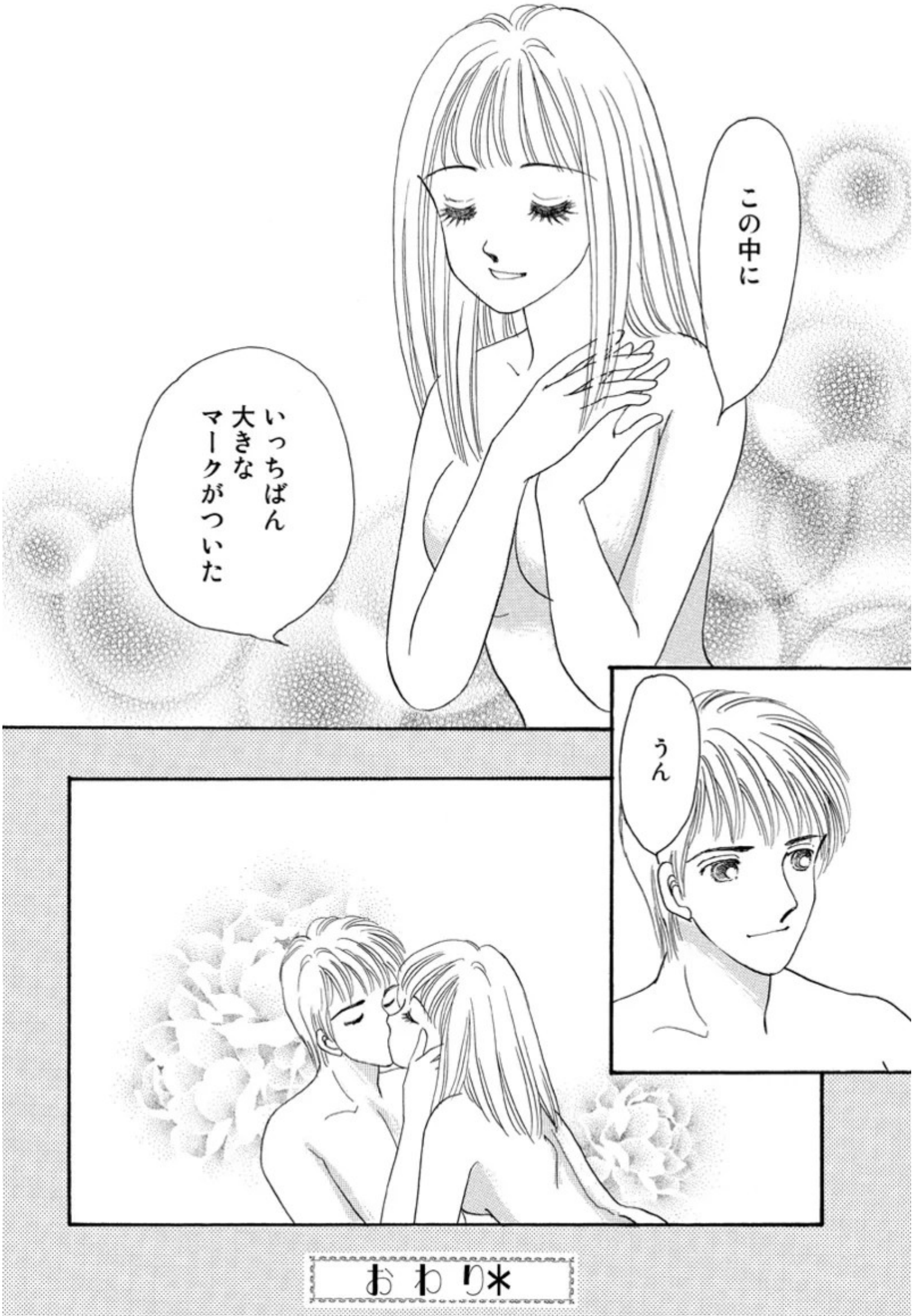

よかったな
たいしたことなくて
ねぇ
和明
お…
おい
おい
退院してきた
ばかりだぞ
だって
和明のしるし
消えてきたもん
ばぁーか
あ…
あ…


キスで
あなたの
気持ちが伝わって
キスで
あたしの
気持ちが
伝わって
キスで
あ…
恋が深く
なっていくのね

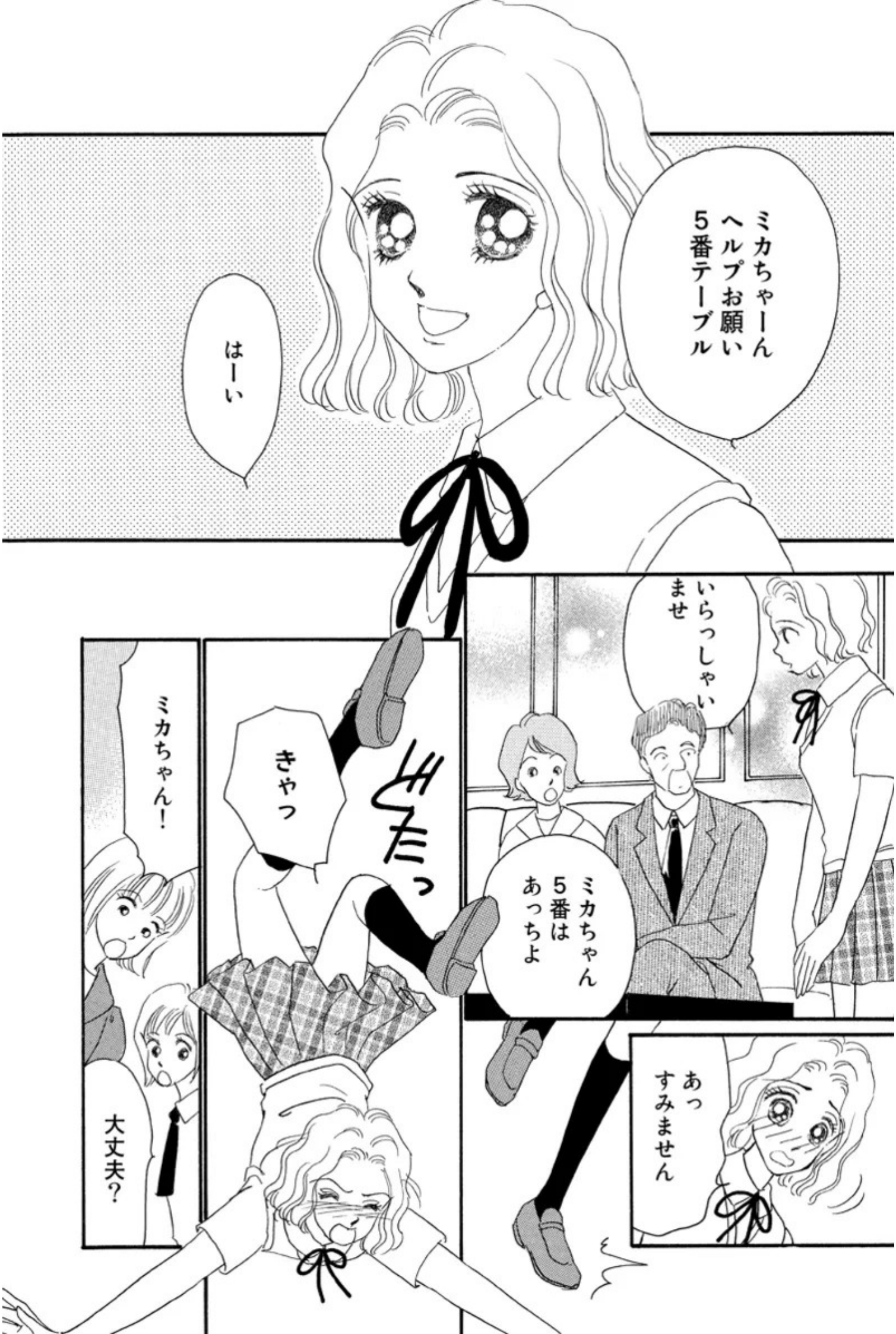

あたしの
体に いっぱい
ついたしるしは
あ…ん
〝思い〟の数なの
あ…
ねぇ
和明
あたし
これから
ちゃんと
話聞くからね


あ…あ
ふたりで
恋して
いこうね
あ…
あ…

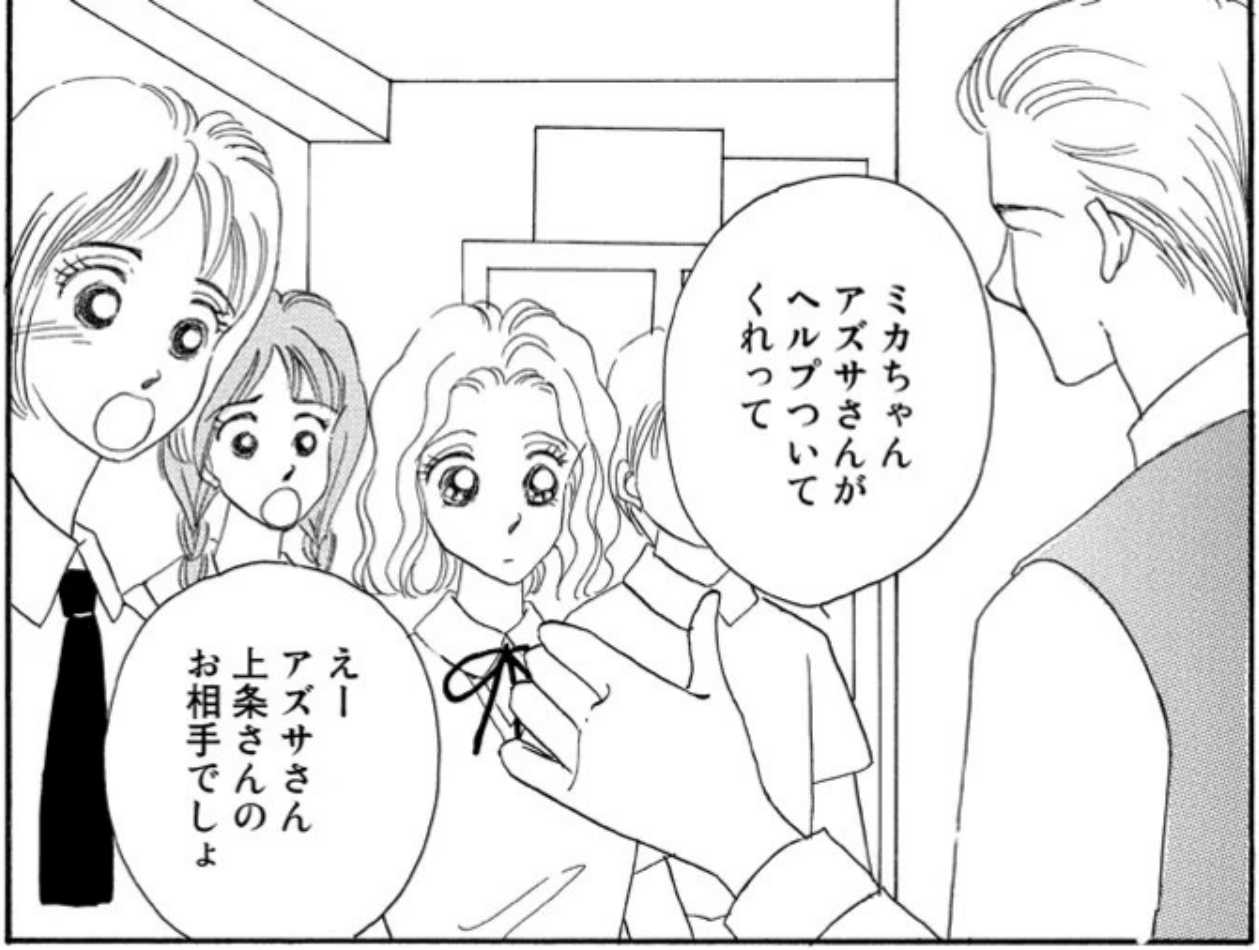

いち
にい
さん
しぃ
思いっ切り
つけたなぁ
キスマーク
うん
やっぱ
まずくない？
ううん
キスの
ひとつひとつが
幸せのしるし
だからいいの
それでね
恋人だもん


この中に
いっちばん
大きな
マークがついた
うん
おわり*


ヘルプな気分


ミカちゃーん
ヘルプお願い
5番テーブル
はーい
いらっしゃいませ
ミカちゃん
5番は
あっちよ
あっ
すみません
きゃっ
ミカちゃん!
大丈夫?


あーあ
アザになってる
ちょっと
ちょっとぉ
来た来た
来たわよ
上条さん
えー
ホント?
また
今夜も
指名なしよ
No.1の
〝アズサ〟さんが
ついてるわ
あーあ
彼の指名
もらえたら
〝ヘルプ〟卒業
できるのに
欲しいよぉ
指名
指名…かぁ


ミカちゃん
アズサさんが
ヘルプついて
くれって
えー
アズサさん
上条さんの
お相手でしょ


ミカが
ヘルプぅ!?
大丈夫よ
ミカなら
ドンくさいし


ひどーい


そりゃ
あたしは
先輩みたいに
ヘルプ卒業
なんて考えて
ないけど


ヘルプの仕事は


いらっしゃいませ
ミカです
ちゃんと
やるもん


ミカちゃん
おしぼり
お出しして
ミカちゃん
水割りの
氷ないわよ
アズサさんの
ジャマをしないよう
そつなく
こなして
どうぞ
君さぁ
やる気ない
よねぇ
え？
さっきから
見ていると
言われたことしか
やってないし
客に対して
誠意がないよ
ほかのコに
代えてくれ
ないか？
え？
チェ…ソジ？


今まで
いっぱい失敗
してきたけど
交代
させられた
ことは
なかった
泣くほど
イヤなら
いてもいいけど
ミカちゃん
バタ
バタ
バタ
失礼
しました


もう一度
お隣
いいですか？
お願い
します!!
ミカちゃん
水割り
1対2
ですね
ふうん
じゃあ
あの客は？
メガネの
客の好み
覚えてるのか？
数字は
強くて
あの方は
バーボン
1対1です
あっちは？
スコッチ
ロックで
氷は3個


すごいな
じゃあ
あそこ
知り合い
なんだけど
上田の好みは？
上…田さま？
え…
名前
覚えて
ないのか？
すみません
名前は
苦手で
じゃ
僕の名前も
覚えてないの？
え
えっと
えっと
か…
か
バカねぇ
上条さんよ
嫌われ
たわねぇ
ミカ
あっ
思い出したぁ


神田さま
も…
申し訳
ありません
え？
神田さまじゃ
ないんですか？
上…
神田だよ
よかったぁ
初めて
ちゃんと
名前覚えてた
あのさ
今度の金曜日
君を指名するよ
え？
ぇ


あ…
あたし？
どうして？
チェンジ
されるはず
だったのに
汚名返上
したから
え？
客の好み
覚えてたろ
じゃ 金曜日
名前忘れないで
初めて
指名された
ずっと
ヘルプで
いいと思ってたのに
指名って


こんなに
うれしいもの
だったのね
すごく
すごおーく
がんばろう
イメクラ
学園
PUB
いらっしゃいませ
ミカですね
呼んでまいります
いや
あとで
いいよ
ほかのテーブルに
ついてる
みたいだから


はい
バーボン
ロックです
おしぼり
どうぞ
お好きな香り
つけてあります
お待たせ
しました
神田さま
ミカです


な…なんですか？
君に
ほかのことも
覚えて
欲しくなった
あのさ
アフター
しないか？
え
いや？
い…いいえ


あ…あの
アフターって
外で食事
するんじゃ…
自宅のほうが
ゆっくり
できるから
自…宅？
じつは
この上条ビルの
持ち主
ホントは
上条って
いうんだ
え――っ
ご…
ごめんなさい


あ…あたしったら
〝神田さま〟
なんて
いいんだよ
さあ どうぞ
何飲む？
ワインで
いいかな
は…
はい
じつはさ
まえまえから
あの店で
君を見てた
ヘルプ
一生懸命
やってるのに
欲がないなぁ
って…
え
積極的じゃ
なかったろ
名刺
わたさない
ケータイ
番号も


やる気のないコだなぁと思ってたら
チェンジって言われて泣いて
あ
やる気あるんだって思った
ただ自分の気持ちに気がついてないだけだってわかったんだ
さっき働いてるところ見てたら変わったよね
え？
すごくよくなってた
客に対して細かく気を配ってて
ー


誠意があったよ
お…
おいおい
褒めても
泣くのか？
だって…
だって
うれしくて
まいったなぁ
泣くなよ
だって…
あ
あ…


あ…
あん…
あたしの心を
気付かせて
くれた彼が
あたしの中に
住みついていく
あ…
あたしの心を
助けてくれた
彼が

あたしの中で
あ…
あふれていく
あ…



いつか No.1になりたいなぁ お店の

それから あなたの No.1に

欲張りだなぁ

うん♡

応援してるよ

おわり*


あなたのための私


このグラフでわかるよね
ami カナ ミカ rei ゆうこ のん ユリ
わかって……ます
じゃあもうちょっとがんばってよ美花ちゃん
は…い
がんばれって…言われても
このコスチューム


まさか
この店が
メイドパブに
変身するなんて
だめかな
あーいう
キャラに
なんなきゃ
好きで
この仕事
(ホステス)
始めたけど
いやぁん
ゆうこりん
かわいいっ
めちゃ似合わない

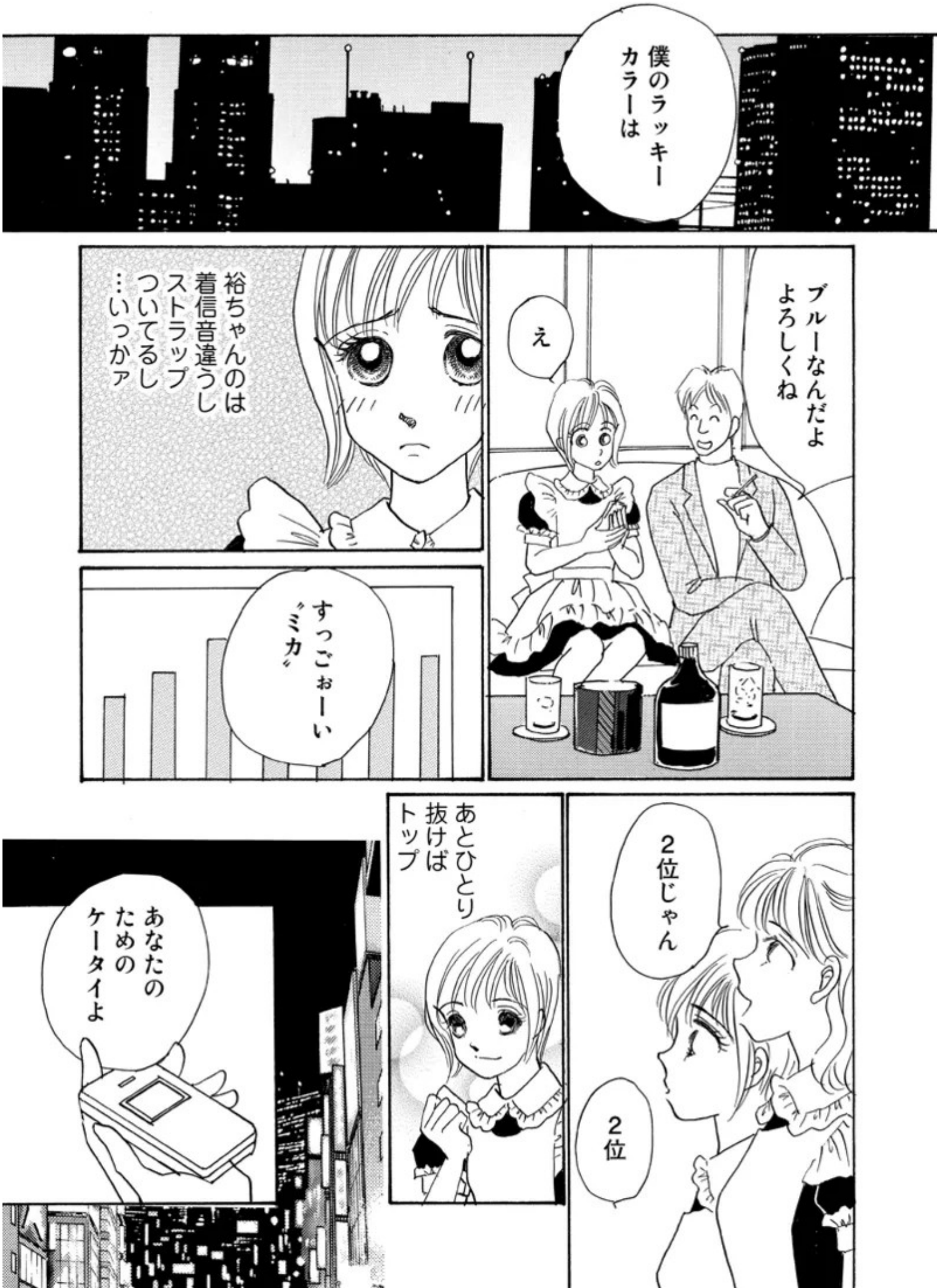

はぁ…
なんだよ
美花
溜め息ばかり
ついてさぁ
はぁぁ…あ
だってぇ
まえはお店で
1・2位
争ってたのに
今は後ろから
1・2位
なんだもん
オレには
一番だよ
あ
あたしも
裕ちゃんが
…一番

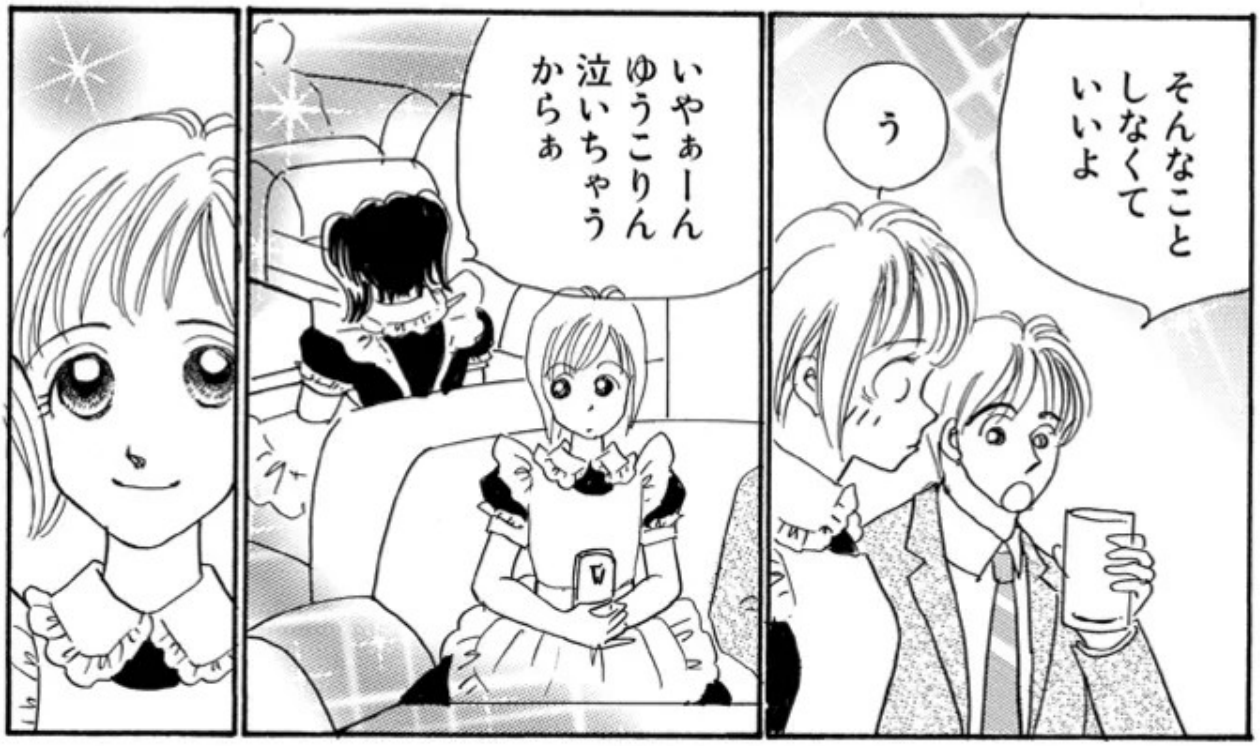

あ……
んんっ
一番…かぁ
あ
え？
僕用の
ケータイ？
一番大切な
お客様だから


一緒に
撮った写真
待ち受けに
しますね
ほかの客にも
同じこと
言うんだろ
専用ですよォ
確かめにきて
くださいね
ほんとに
僕専用だ
もちろん
嬉しいなァ
ずっと
〝ミカ〟ちゃん
指名するよ
はい♡


グラフ
ちょっと伸びた
ご主人様用の
ケータイ
なんですよ
マリ ami カナ ミカ rei ゆう
専用なの
ホント？
特別です
お、
最近
がんばってるね
はい
ミカ rei ゆ
もっともっと
グラフ
伸ばさなきゃ


証券
これにしようっと
またケータイ買うのかよ
仕事に必要なの
契約してくる
そんなにケータイ持ってごちゃごちゃになんないの？
ならないよ
オレのわかってる？
裕ちゃんのはブルー
ほかの人は違う色
絶対間違えない


僕のラッキーカラーは
ブルーなんだよ
よろしくね
え
裕ちゃんのは着信音違うしストラップついてるし…いっかァ
すっごぉーい〝ミカ〟
2位じゃん
2位
あとひとり抜ければトップ
あなたのためのケータイよ


そんなこと
しなくて
いいよ
う
いやぁーん
ゆうこりん
泣いちゃう
からぁ


えーん
えーん
〝ミカ〟りん
悲しいよぉ


あっあっ
う…嬉しい
嬉しいよ
ほんと？


美花
もうねぇ
すうごおくう
幸せぇー
もうすぐぅ
いっちばーん


なんか
最近の美花の
しゃべり方
キモイよ
裕タンったらァ
ひっどぉーい
その言い方
キモイ
その服も
キモイ
ふだんから
着てたら
似合うように
なるでしょ
ここは店じゃ
ないんだよ
オレは客じゃ
ないんだから
わかってる
けど…
いいじゃん
一番になるため
なんだから
あのさ


オレの美花に戻ったら電話して
裕ちゃんはなんにもわかってない
一番になるためにがんばってるのにわかってない
お客さんだ


こっちは
同伴ＯＫ
こっちは
あいさつっと
裕ちゃんに
メールしよう
かな…
やーめた
悪いのは
あっちだもん
お待たせぇ


〝ミカ〟ちゃんは何が食べたい？
お寿司
裕ちゃんとは絶対に食べにこれない
高級お寿司
裕ちゃんと食べにいく
くるくる寿司のほうがおいしい
あ


ちょっとすみません
えっと
あ…
バタン
裕ちゃんの着信音
裕ちゃんの音
待って
切らないで
あったァ
プッ
あ…
切れちゃった
大好きな人のケータイ
すぐにでられないなんて


あたし
何やってるんだろう
あ…あの
す…すぐ
戻りますから
えっ…
え?
裕ちゃん
美…花


電話とったら
切れちゃって
あ…
このまえのこと
謝ろうと思って
仕事まだ
だっけ？
同伴のお客
置いてきた
ばかっ
好きな仕事
なんだろ
お客さん
ほっといちゃ
だめだろっ
早く
行けって
仕事
終わったら
すぐ来るから
待ってて
美花を
待ってる


裕ちゃんは
やっぱり
一番で
あたしに
とって
ううん
順番なんて
つけられない
一緒じゃないって
わかってたつもりなのに
あ
たったひとりの
人だもん
お店はお店
彼は彼

全然
わかってなかった

あ……

あ……あ…

愛してる

裕ちゃんは
特別な人

じゃん♡

すっげーな

これで
すぐにわかる

で お店で
一番になった？

ううん

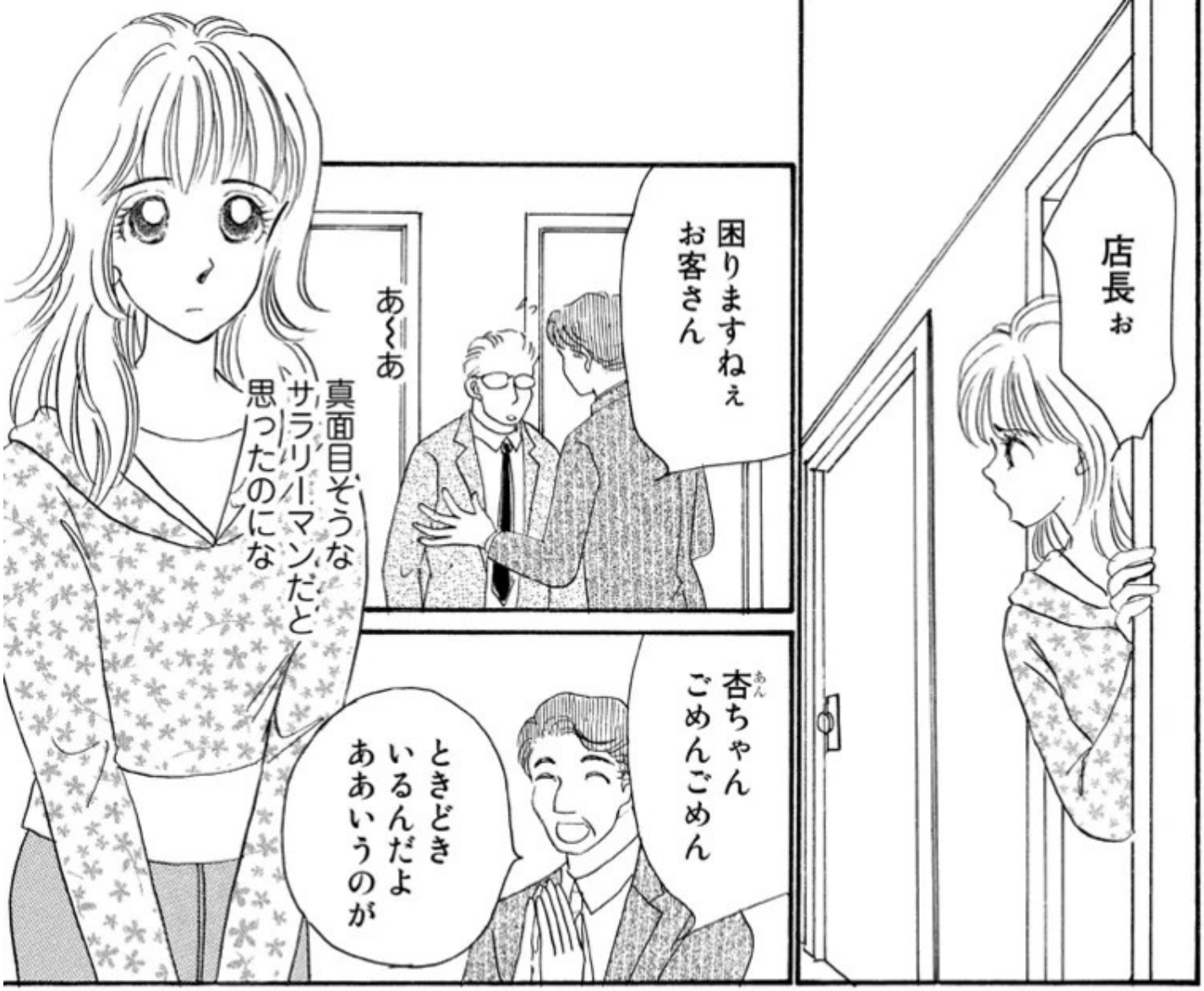
ゆうこりんが
一番♡

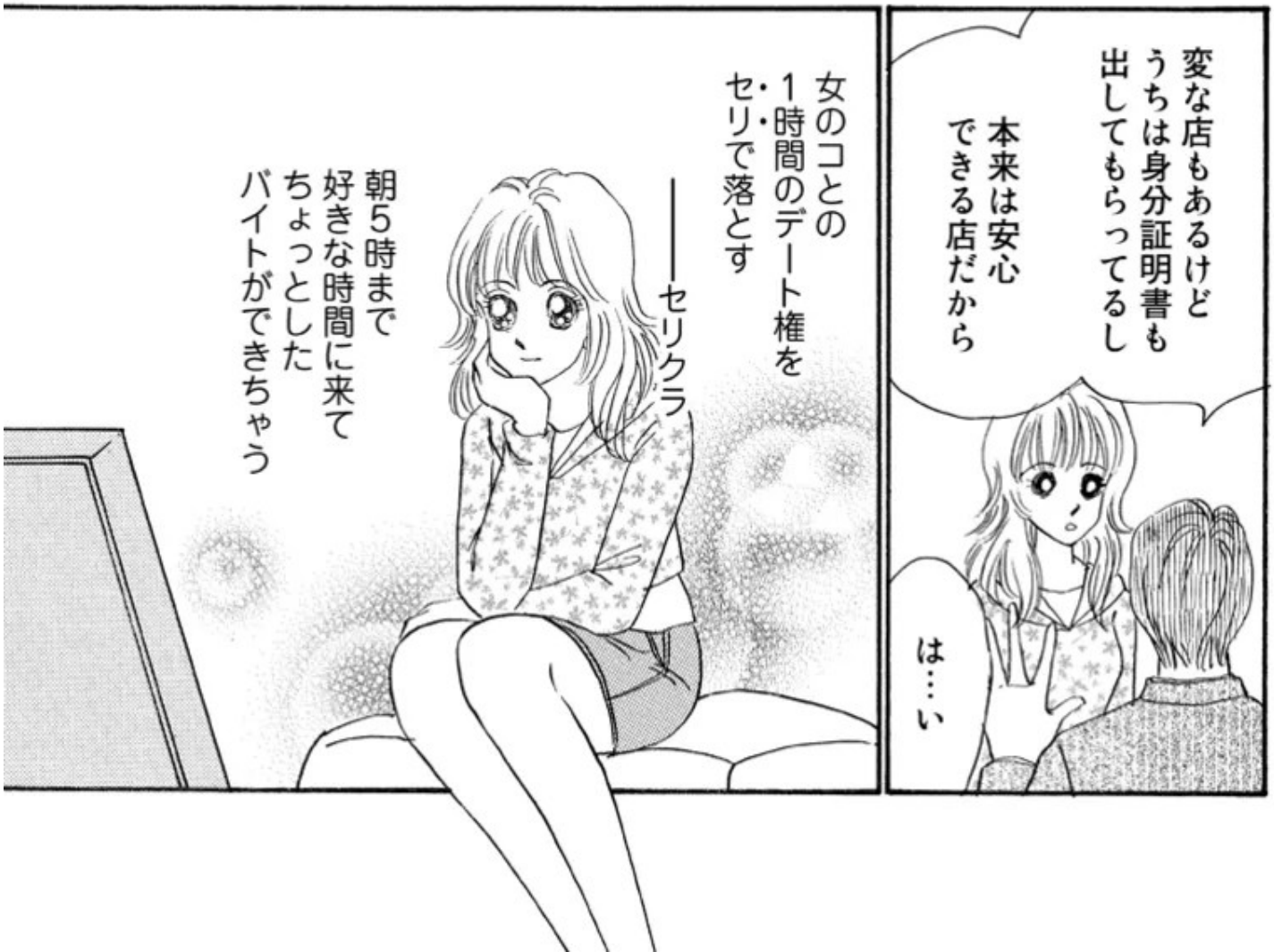
おわり＊


あなたに
出会うまで


2万！
え？
2万で
触らせて
えーっ


あ…あの
この店は
そういうのは
「なし」なんですけど
またまたぁ
それは
たてまえだろ
じゃ
写真
1万で
パンチラ
写真は？
すくっ


店長ぉ
困りますねぇ
お客さん
あ〜あ
真面目そうな
サラリーマンだと
思ったのにな
杏(あん)ちゃん
ごめんごめん
ときどき
いるんだよ
ああいうのが


変な店もあるけど
うちは身分証明書も
出してもらってるし
本来は安心
できる店だから
は…い
女のコとの
1時間のデート権を
セリで落とす
——セリクラ
朝5時まで
好きな時間に来て
ちょっとした
バイトができちゃう


うまくいけば
彼氏ゲット
ピッ
パス
デート相手
選べるし
ピッ
風俗はなし
ピッ
パス
ただし
デートしなければ
バイト代は入らない
わかってる
けど
ピッ
タイプ♡
ピッ
デートOK


OKの場合は
その男性の待つ部屋へ
初めまして
杏です
ど…どうも
こ…
こういう
者です
××大学研究室
加藤健二
しーん…
あ…あの
研究って
何してるん
ですか？
それはですね


カビです
4万種類以上あると言われてまだよくわかってないのも多いんです
身近なところではクラドスポリウムクロカビとも言われますがお風呂やトイレでよく見ます
200種類以上あるペニシリウム色は白・グレーピンク・グリーン・ブルーといろいろ
これはペニシリンを生産したりブルーチーズを発酵させたり…
それから――
アスペルギルスはミソやしょう油の発酵に使われます
ぺら
ぺら
ぺら
ぺら
ぺら
ゴリリリ・・・ン
あ…の1時間たっちゃいました……けど
え
あ
そ…そうですか
顔はタイプだったのになぁ
カビの話で1時間


あ〜あ
なかなか
彼氏できないなぁ
理想が
高すぎるのかな?
カビは
ですね
すっごく
一生懸命
説明してたなぁ
いつも
ああなのかな

セリクラ

今日はどんな
男の人が
来てるのかなあ

ちょっと
楽しみ

え!?

あ…あの
もう一度
君としゃべり
たくて

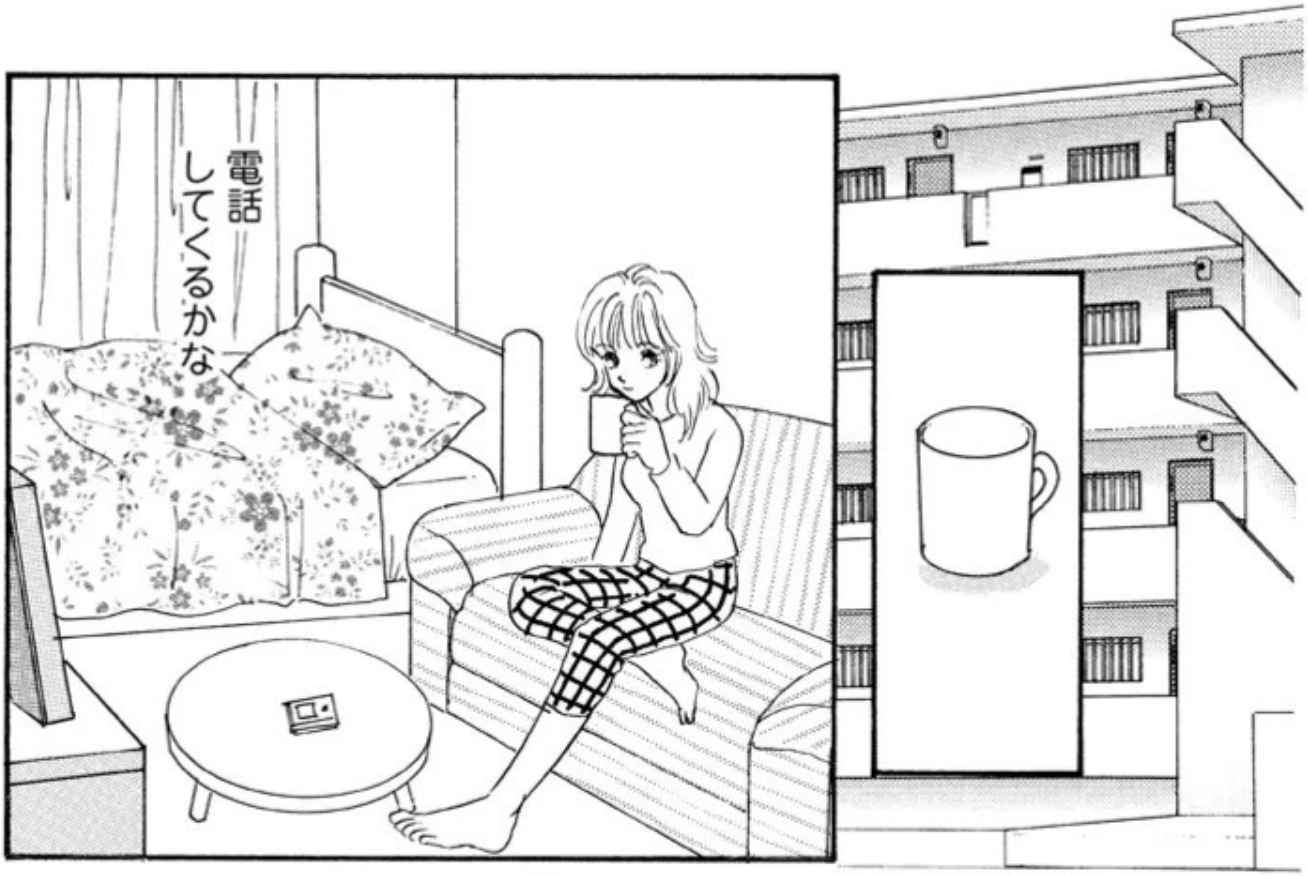
しーん

え…えっと

あっ
そうだ

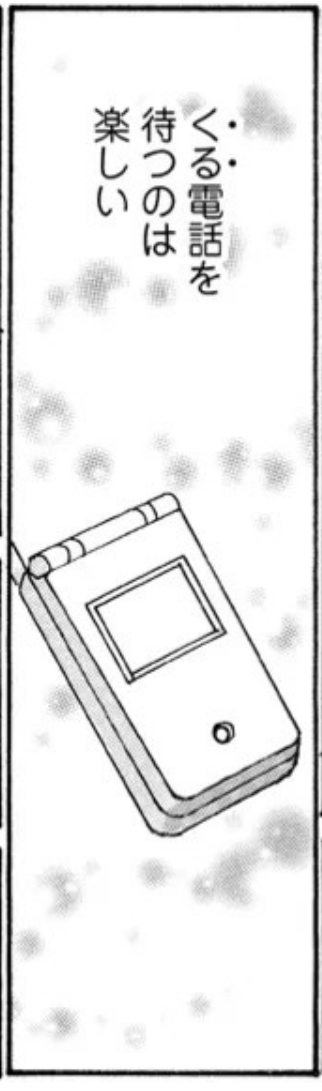

このまえ
買っておいたパンに
カビが生えちゃって
あ
パンのカビは
クモノスカビ
綿毛状の菌糸
からできてて
クモの巣のように
生えるんです
カビの話になると
おしゃべりに
なるのね
ああっ
だめだ
え？
研究室の先輩に
言われたんです
おまえの話は
つまらないから
女のコに
嫌われるって
テレビとか
ファッションの話
芸能人の話が
いいぞって
そういうのに
興味あるの？

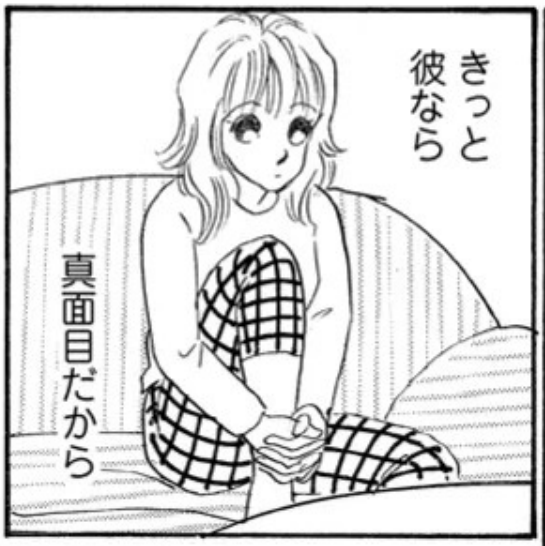

ないです
きっぱり
あ
ねぇ
デート
しない？
…え？
今 してますが…
デート権
もらったので
こういうの
じゃなく
外で
お買い物したり
食事したり
あ…
杏さん
さんじゃなく
ちゃんがいい
杏ちゃん
お休みのとき
電話して
090-
××××-××××


電話
してくるかな


番号 訊いて
あたしから
かければ
よかったかな?

でも…


・・くる電話を
待つのは
楽しい


きっと
彼なら
真面目だから


かけてくる
もの


かけてくる


どよーん
杏
どうしたの？
その顔
最近
寝不足
電話 待つのってつらいねぇ
彼氏？
う…
ううん
ううん
あの店で出会ったのに
あたしったら
何
本気になっているんだろう
バカみたい
電話かけてくるわけないじゃない


そこ！
授業中は
携帯電話
切りなさい
もしもし
あの
加藤健二(かとうけんじ)です
やっと休みが
取れました
休みのとき
電話して
そっか
あ
あの
待ち合わせ
どうしましょう
あ
えっとね

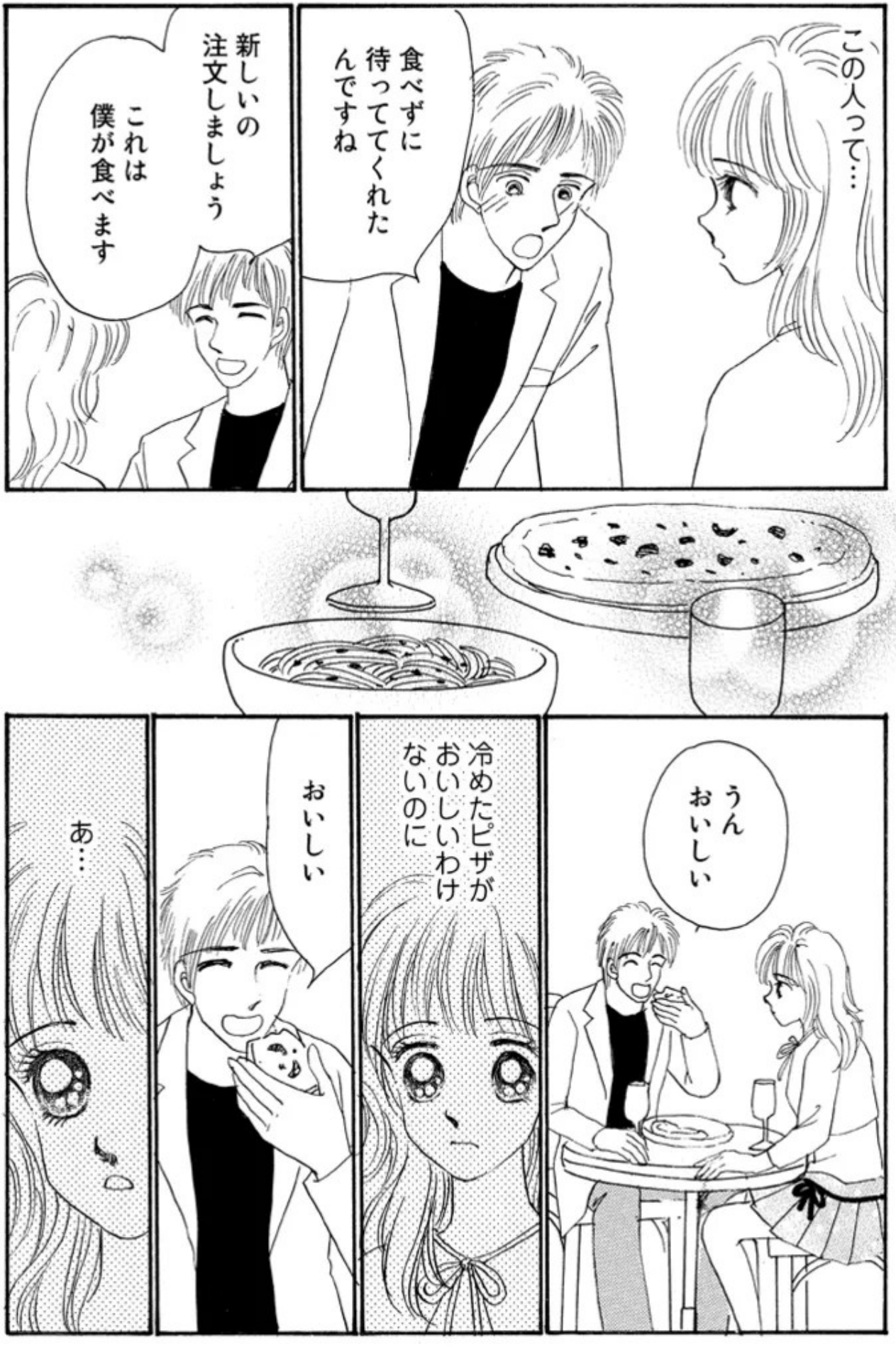

お待たせしました
え
先輩に借りたんです変ですか？
う…ん なんだか結婚式行くみたい
冠婚葬祭用だと言ってました
やっぱり
まずはお買い物行こう
はい

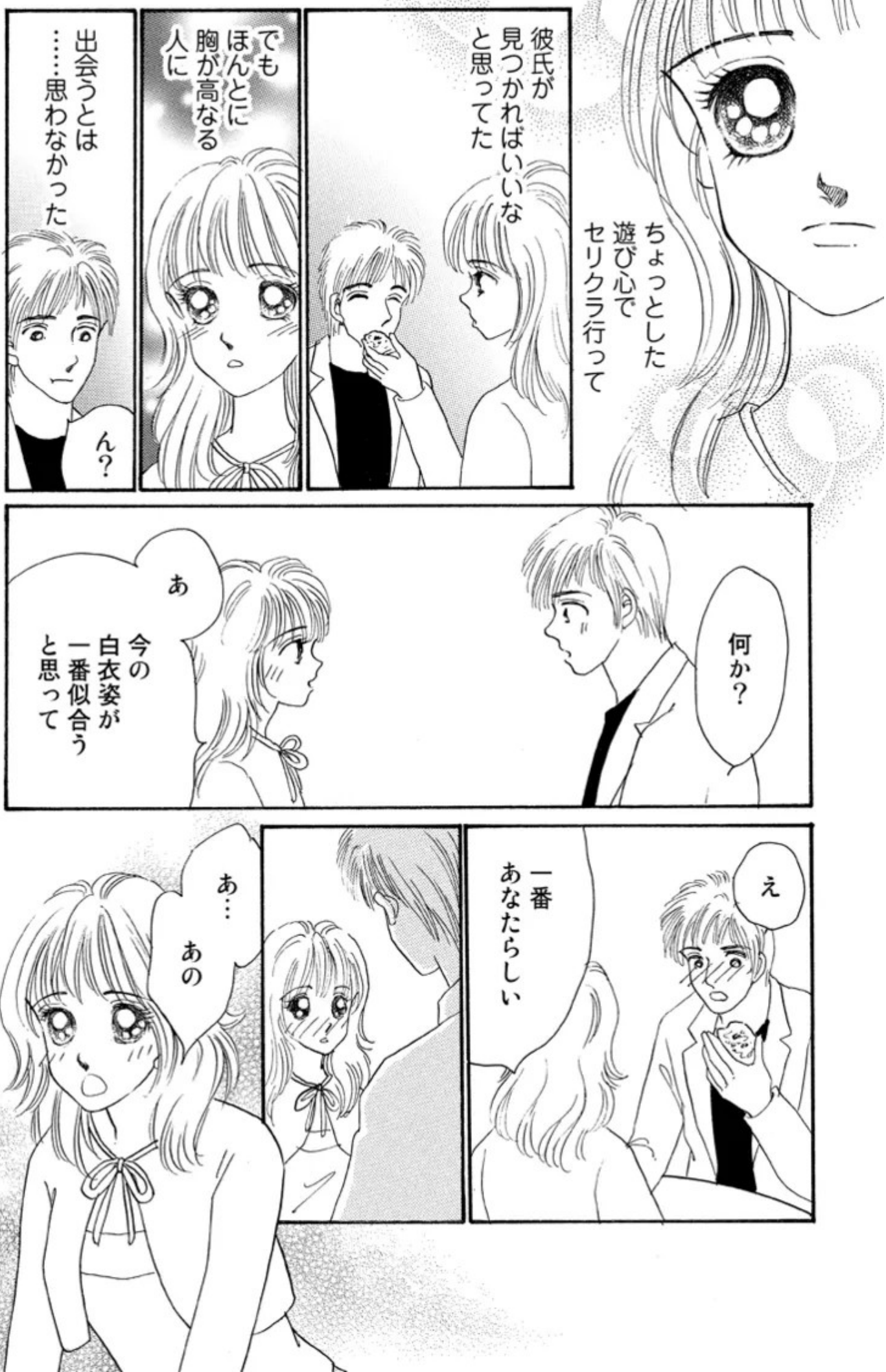

すっごい
いい感じ
じゃあ 服を
選んでもらった
お礼に食事
ごちそうします
ほんと?
評判のいい店
調べたんです
ここは
ピザがおいしいって
書いてありました
おすすめピザと
ワインで
いいですか?
うん
あ
♫


ちょっと
すみません
はい
加藤です
え?
え?
だめだめ
触らないで
すぐ行くから
ごめんなさい
30分待ってて
ください
え
研究室に
行ってきます
すぐ
戻ります
あ
30分…って


30分たっても
戻ってこない
お料理
冷めちゃったよ
あたし
なんで待って
いるんだろう
ごめんごめん
待った？
ううん
そうよね
付き合ってる
わけでも
ないのに
もしかしたら


このまま
来ないかも
…しれない
ご…
ごめんなさいっ
ほんとに
ほんとに
ごめん
こんなに
かかるとは
思わなくて
ぽろ
ぽろ
ごめんなさい
え？
待ってると
思わなかったのに
必死で走って
きたんだ
待ってて
くれるとは
思いませんでした
ハァハァ


この人って…
食べずに待っててくれたんですね
新しいの注文しましょう
これは僕が食べます
うんおいしい
冷めたピザがおいしいわけないのに
おいしい
あ…


ちょっとした
遊び心で
セリクラ行って
彼氏が
見つかればいいな
と思ってた
でも
ほんとに
胸が高なる
人に
出会うとは
……思わなかった
ん？
何か？
あ
今の
白衣姿が
一番似合う
と思って
え
一番
あなたらしい
あ…
あの


チ…チーズ
ついてる
口のトコ
え？
ここ
あ


HOTEL
あ…あの
シャ…シャワー
してきます
は…はい
初・・・めて・・・かな
初めて
だろうな

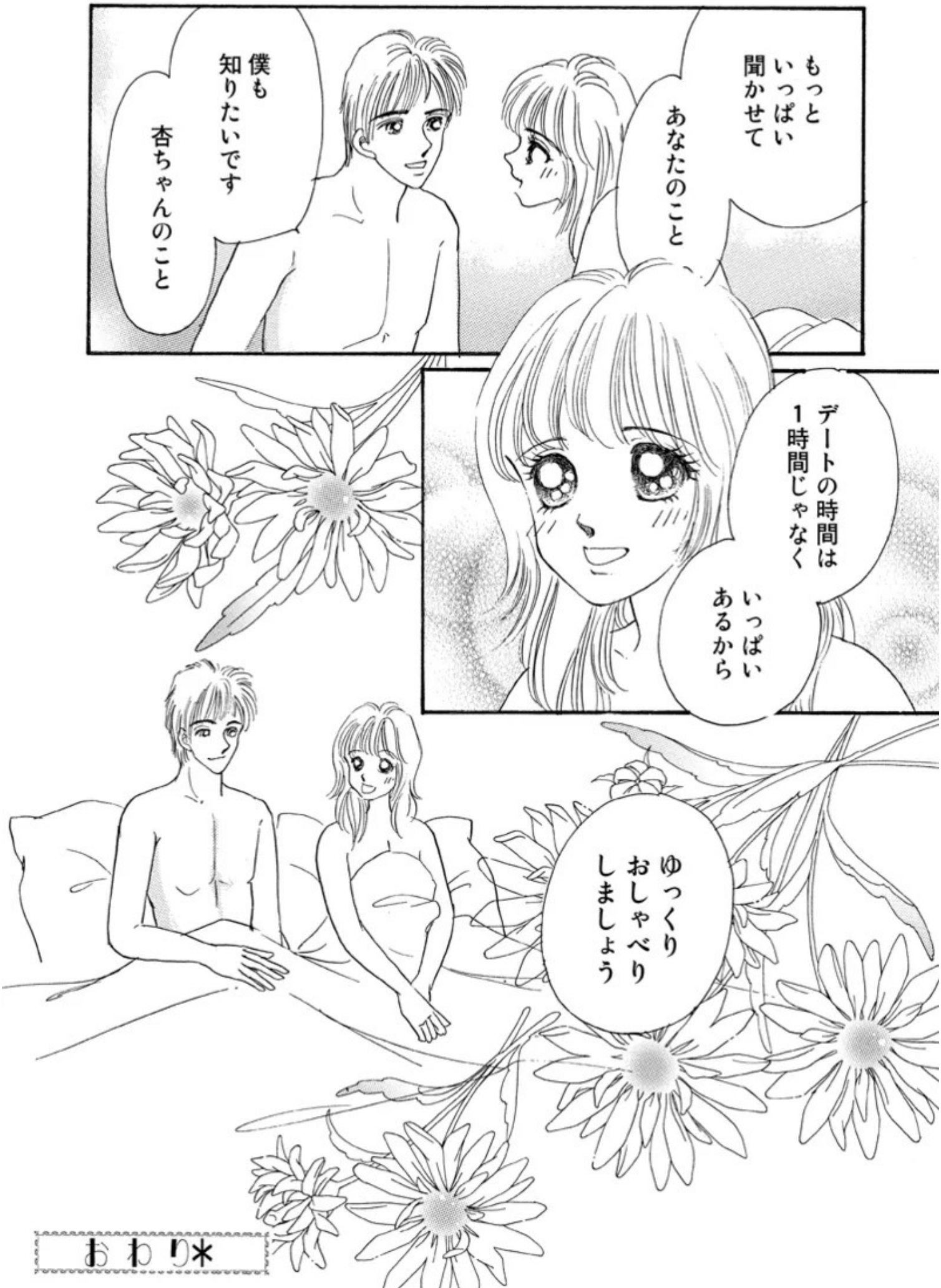

あ
あ
あ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
う…そ
うま…い


あたし
まだまだ
あなたのこと
知らないね
きっと
これから
いっぱい
いっぱい
あなたの
こと
知って
いっぱい
ドキドキして
あ
あなたに
恋していくのね


出会う場所
なんか
問題じゃない
大切なのは
出会ったあとなの


あ……あ
い……い
あなたに
会えてよかった

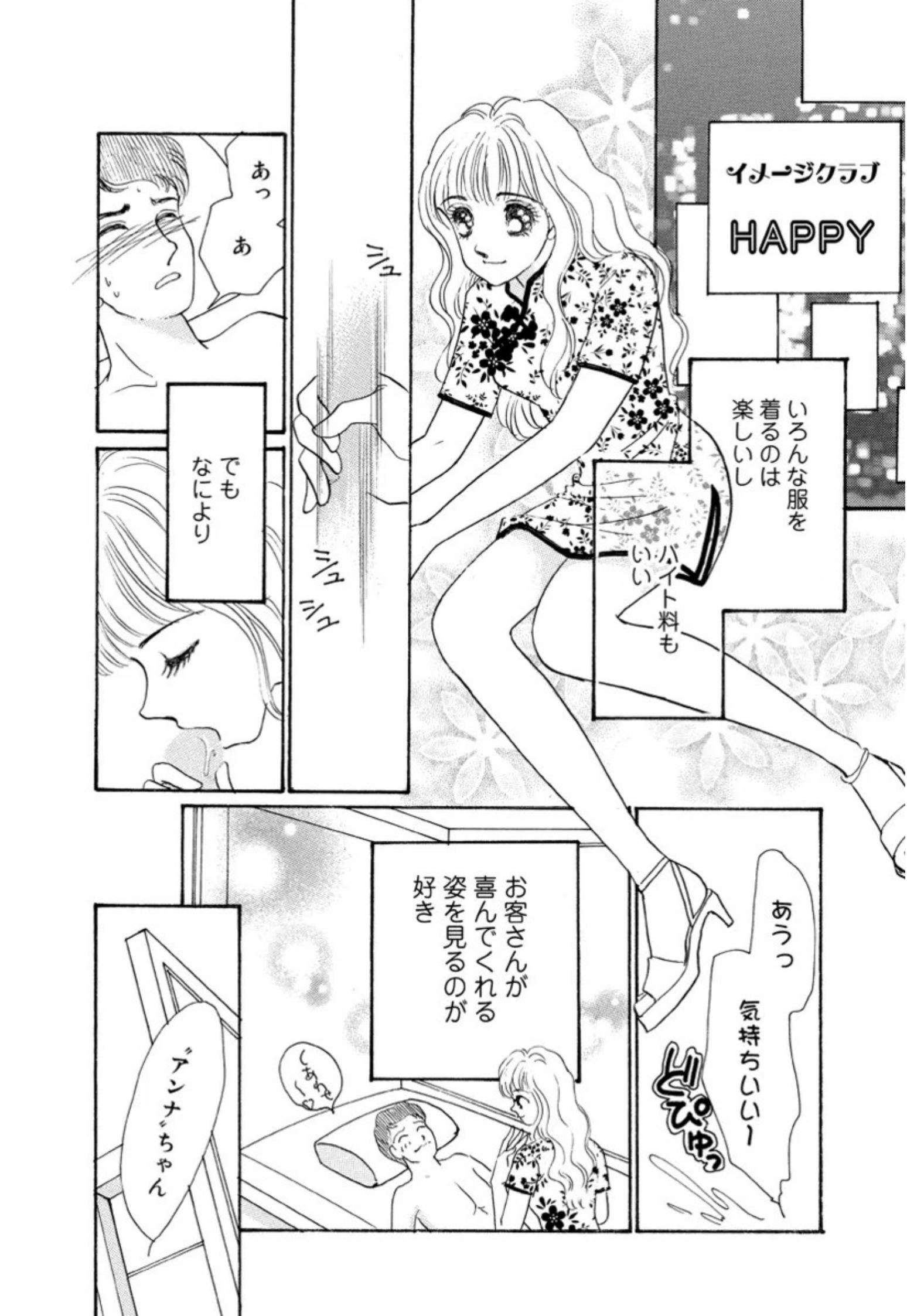

あ
そういえば
緊急の用事って
なんだったの？
今
実験中の
カビです
うまく
いきました
もう
このカビを
育てるのが
大変で…
…あ
また
ううん
いいの
研究のこと
話してるときが
一番
あなたらしくて
素敵

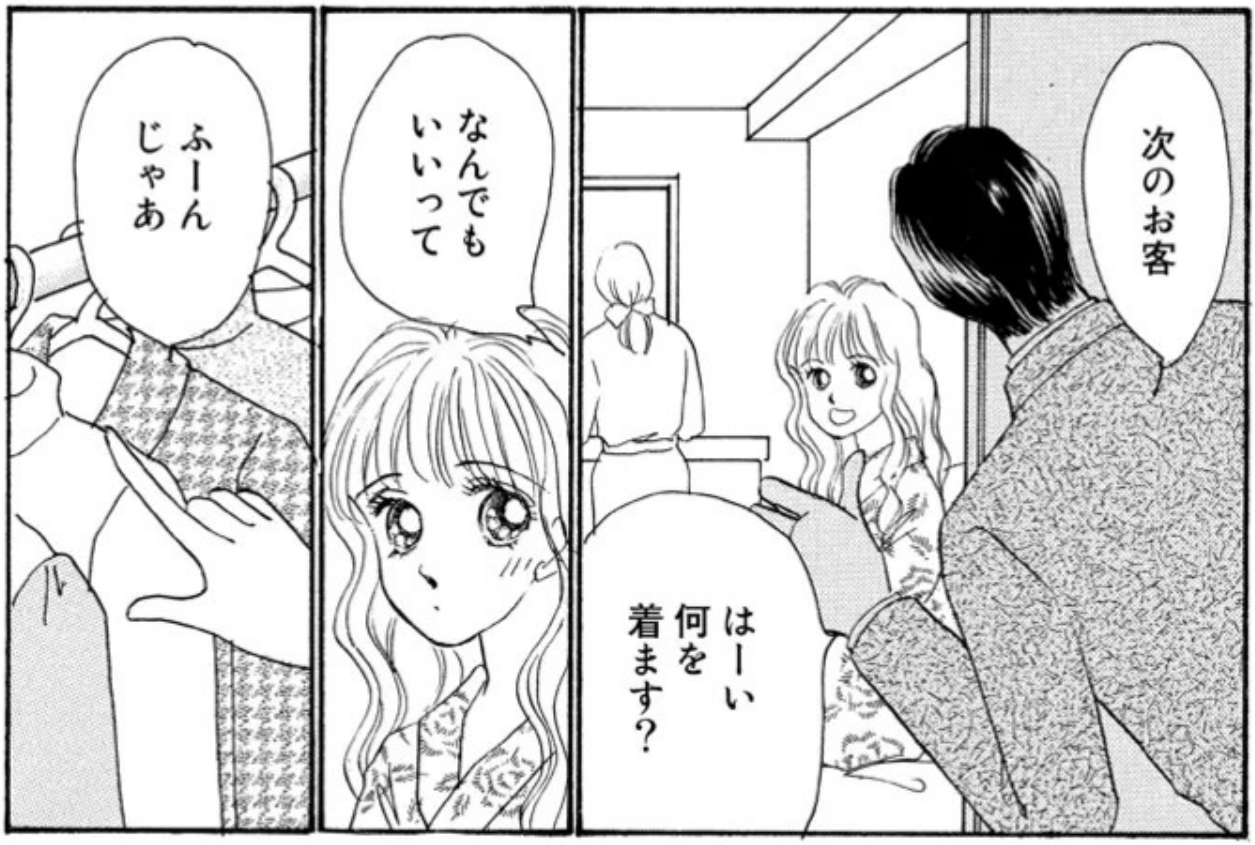

もっと
いっぱい
聞かせて
あなたのこと
僕も
知りたいです
杏ちゃんのこと
デートの時間は
1時間じゃなく
いっぱい
あるから
ゆっくり
おしゃべり
しましょう
おわり*



HAPPY DAYS

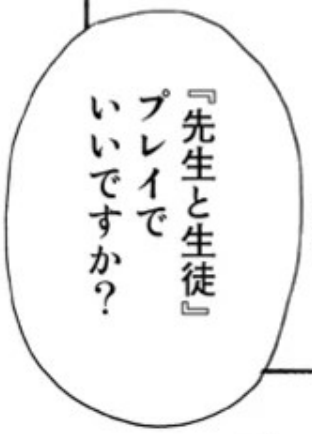
ハッピーデイズ


イメージクラブ
HAPPY
いろんな服を着るのは楽しいし
バイト料もいいし
でもなにより
あっ
あ
シュ
シュ
シュ
あうっ
気持ちいいー
ビクビクッ
お客さんが喜んでくれる姿を見るのが好き
しあわせ〜
アンナちゃん


次のお客
はーい
何を
着ます？
なんでも
いいって
ふーん
じゃあ

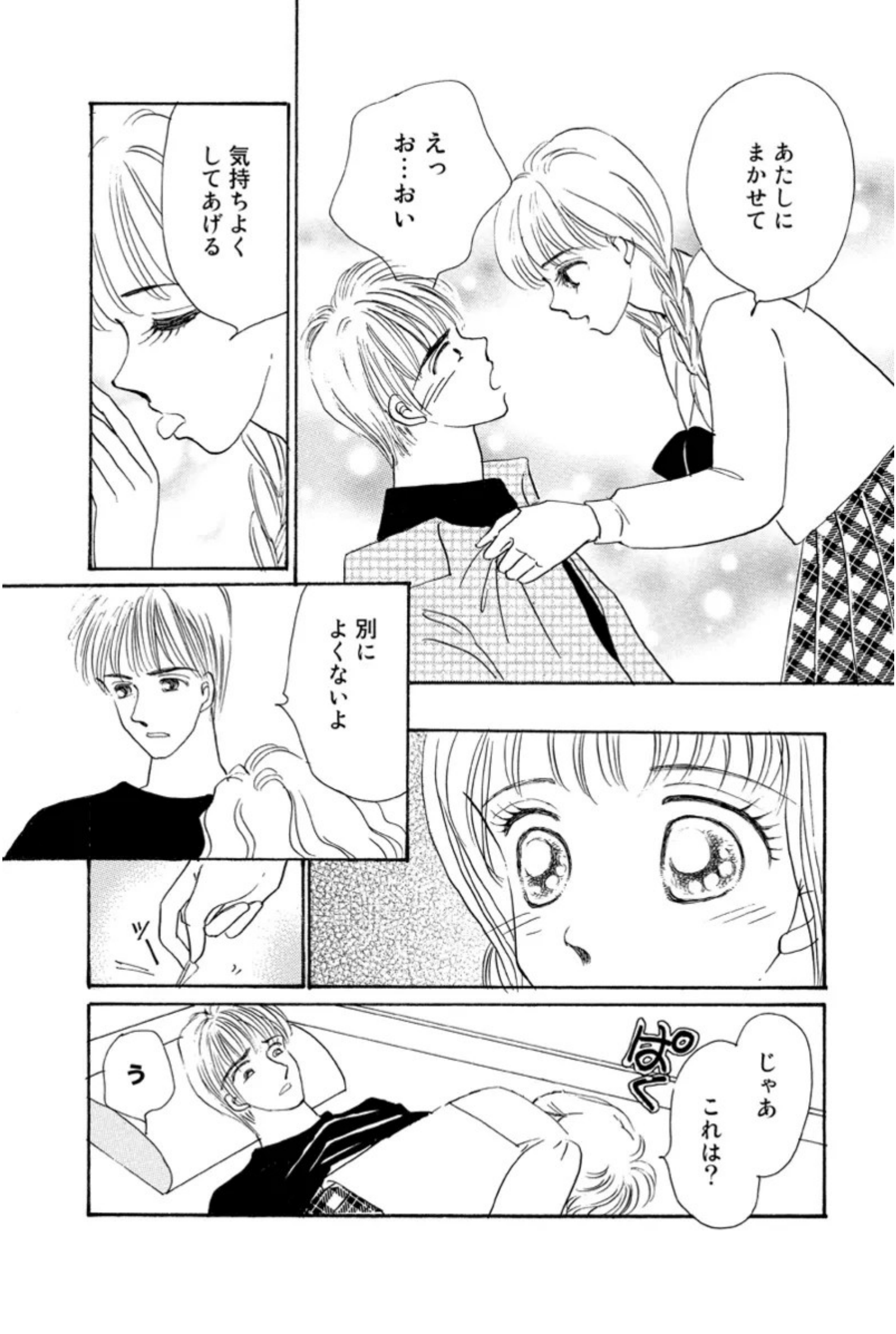

定番の
これかな


いらっしゃいませ
アンナです


『先生と生徒』
プレイで
いいですか？

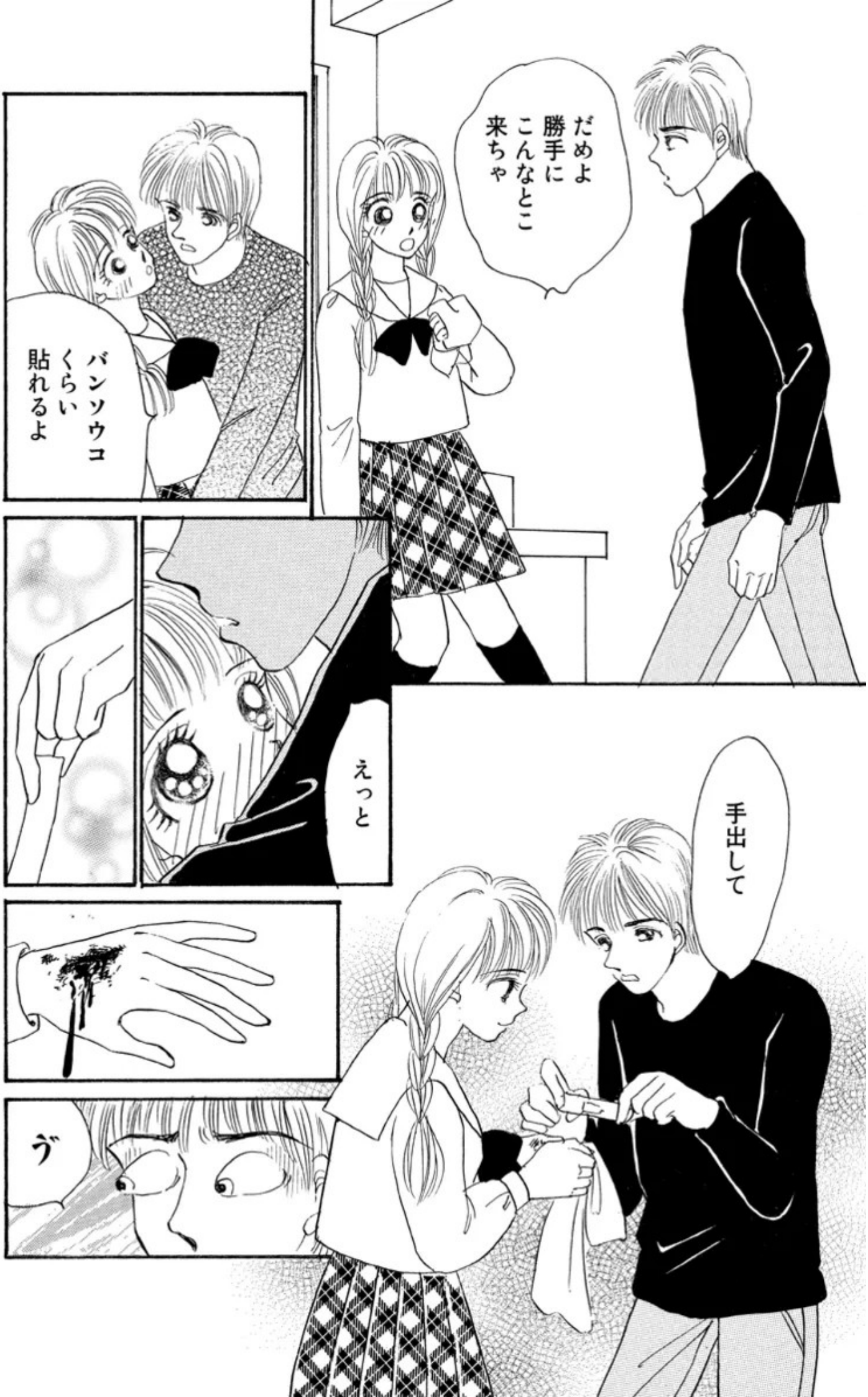

え


教室もありますけど
いいよこのままで
じゃあ
あのさオレ
友達の付き合いでいるだけだから
料金そいつもちだし
でもせっかくきたんだし楽しんで
いいよ楽しめそうにないから
大丈夫


あたしに
まかせて
えっ
お…おい
気持ちよく
してあげる
別に
よくないよ
ツー
じゃあ
これは？
ぱく
う

べ…
別に
も…
も…
もう
いいよ!!
ヨロ…
きゃっ
カシャ

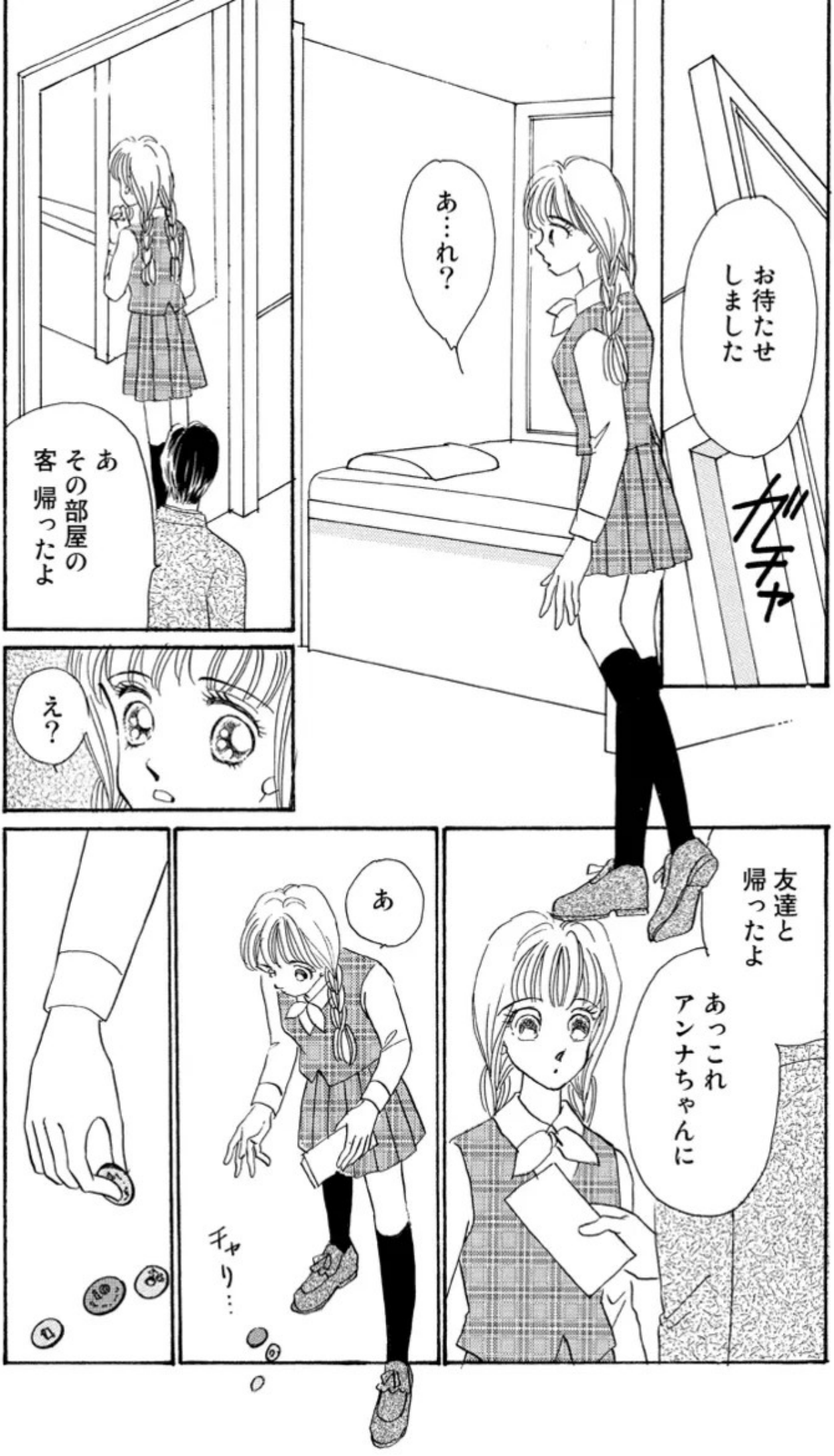

ったァ
オ…
オレ
ちょっと
待ってて
あ
えっと
ひとりじゃ
手当て
しづらいよ


だめよ
勝手に
こんなとこ
来ちゃ
バンソウコ
くらい
貼れるよ
えっと
手出して
ヴ

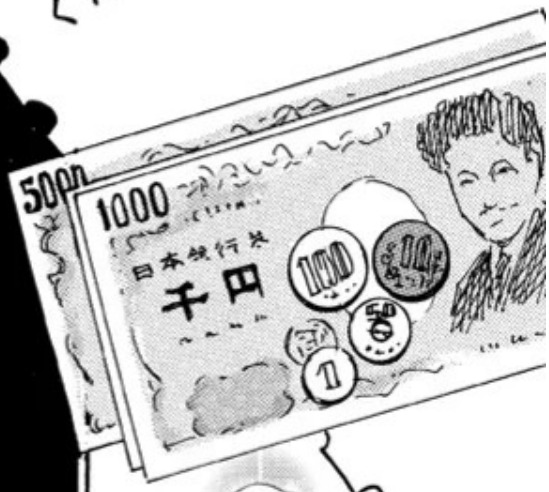

くらあ～
やだ
大丈夫!?
だ…大丈夫
だ…いじょ…うぶ
え
でも
切ったのが
左手でよかった
右手だったら
不便だろ
う…ん
そうだね


ごめん
不器用で
ううん
ありがとう
あ
オレ…
じゃあ
さっきの部屋で
待ってて
え?
ちょっとね
汚れちゃった
から
着替えなきゃ
やだ
そんな顔
しないで
あたしは
お客様に
笑顔で楽しい
思いをして
もらいたいの


さあ
お部屋
行って
う…ん
あらアンナ
どうしたの？
その手
転んで
グラス
割っちゃって
バカねぇ
困るでしょ
アンナ
左きき・・・じゃん
ちゃんと
お医者に
いきなさいよ


お待たせしました
ガチャ
あ…れ？
あその部屋の客帰ったよ
え？
友達と帰ったよ
あっこれアンナちゃんに
あ
チャリ…

ケガさせて
ごめんなさい
医者代にして
ください
柿本政彦



え？

アンナちゃん
来た来た
来たよ

お待ちかねの
お客さん
ご指名だよ

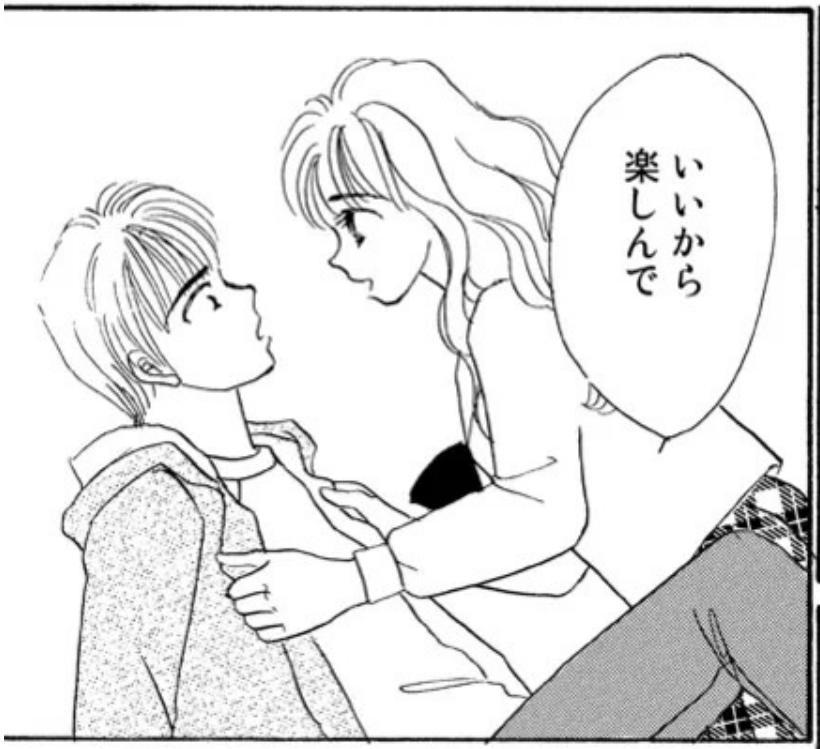
衣装は…

アンナです


よかった
また
来てくれて
ケガが
気になって
大丈夫
だから
これ
返すね
いいよ
それ医者代
だから
でも
お医者には
いかなかったし
いいから
もらってよ


左ききなのに
左手ケガして
不便だったろ
ううん


とにかく
それは
君のだから
じゃあ

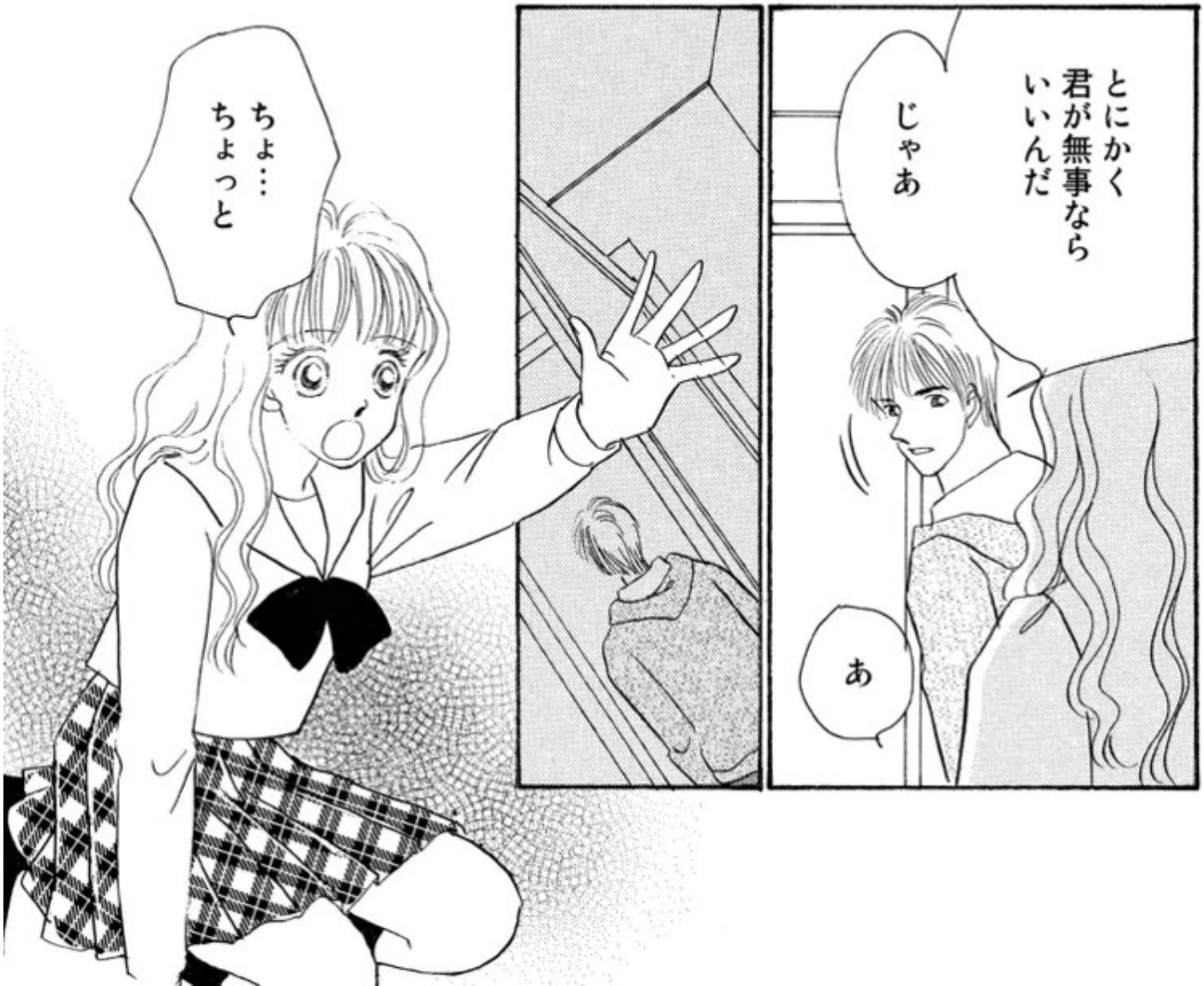

いいから
楽しんで


このぶんは
サービスで


いや


だめなんだよ


風俗…じゃイけないんだ
昔苦い思いをしてさ


とにかく君が無事ならいいんだ
じゃあ
あ
ちょ…ちょっと

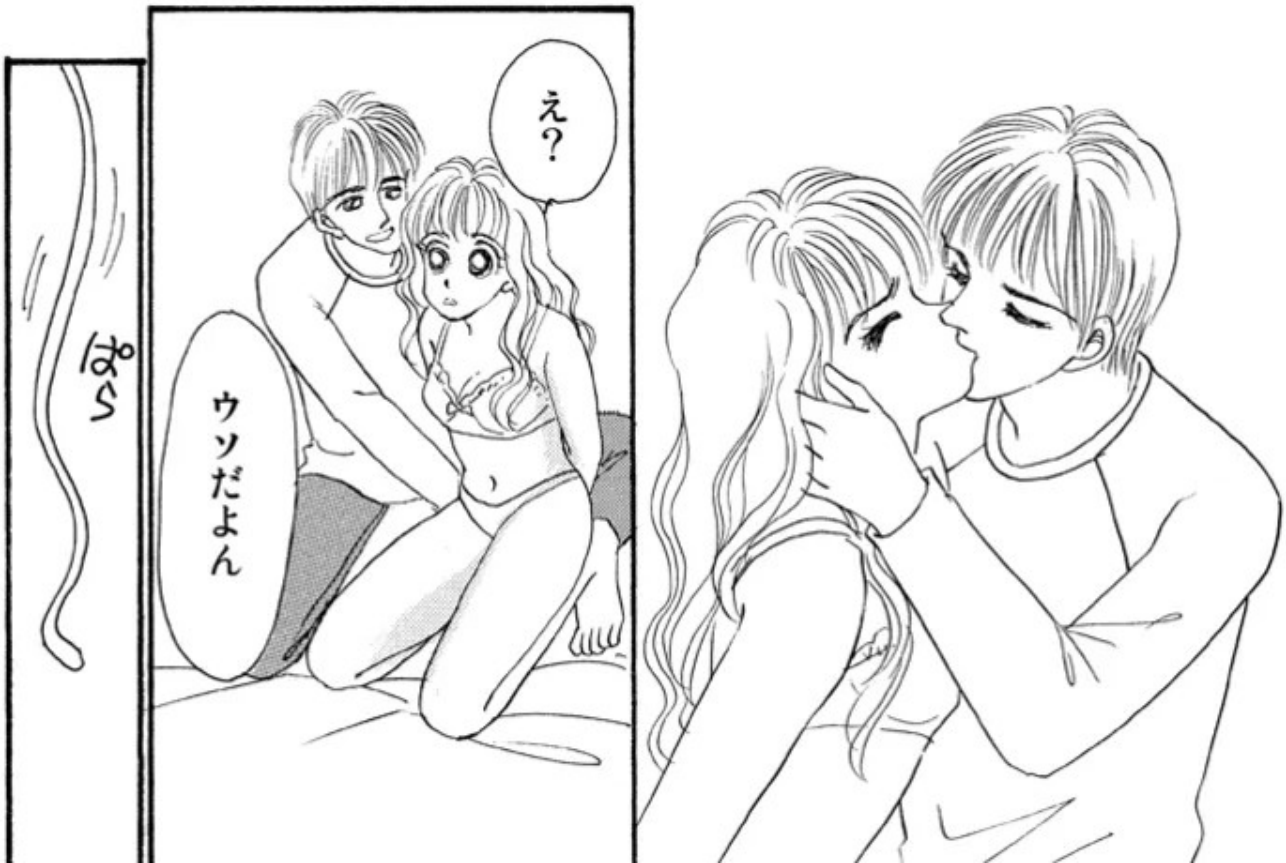

待って
ねぇ
待ってよ
政彦くん
アンナちゃん
ハァハァ
歩くの…早いね
ハァハァ
オレを追いかけてきたわけ？
ハァ
だって仕事してないもの
だからいらないって


楽しい思いをして帰らないお客様がいるなんて悲しい
じゃ 絶対に楽しませてくれるわけ？
うん
オレに変な趣味があっても？


どんなことをしても楽しませてくれるわけ？
うん楽しませてあげる
ダッ
じゃ行こう
ど…どこへ？


シティホテル 一室
あ…
さてとどうしよう…かな
ロウソクとか
ムチとか
何がいい？
ジジ…!!


楽しませて
くれるんだよね
う…
うん
じゃあ
ムチで


え？
ウソだよん
ぱら

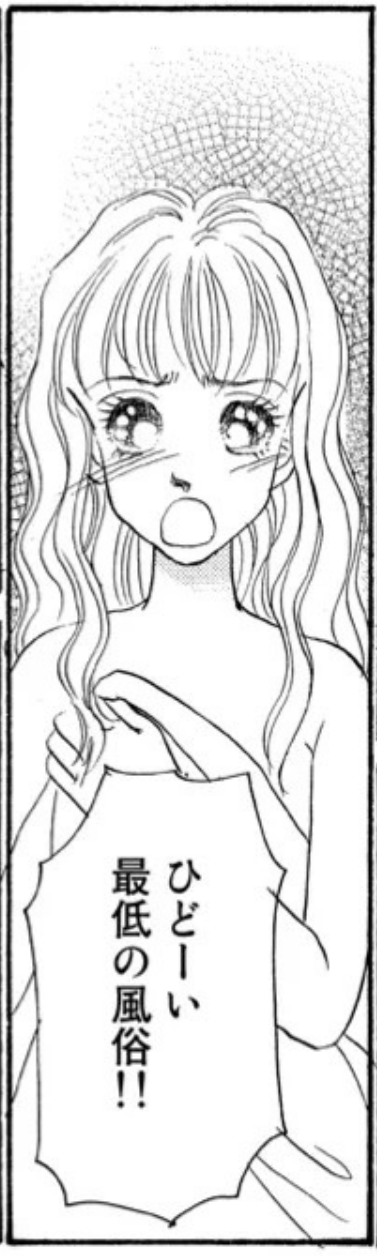

あ…
あ…
だ…め
んん
人を
楽しませるのも
いいけど
自分も
楽しまなきゃ
あ


あ…あん
気持ち
…い…い
あっ
あっ


すてきだった


初めての
風俗が
君みたいな
人だったらなァ
え？


オレ
童貞でさ
さんざんだった
ヘタって
バカにされて


ひどーい
最低の風俗!!

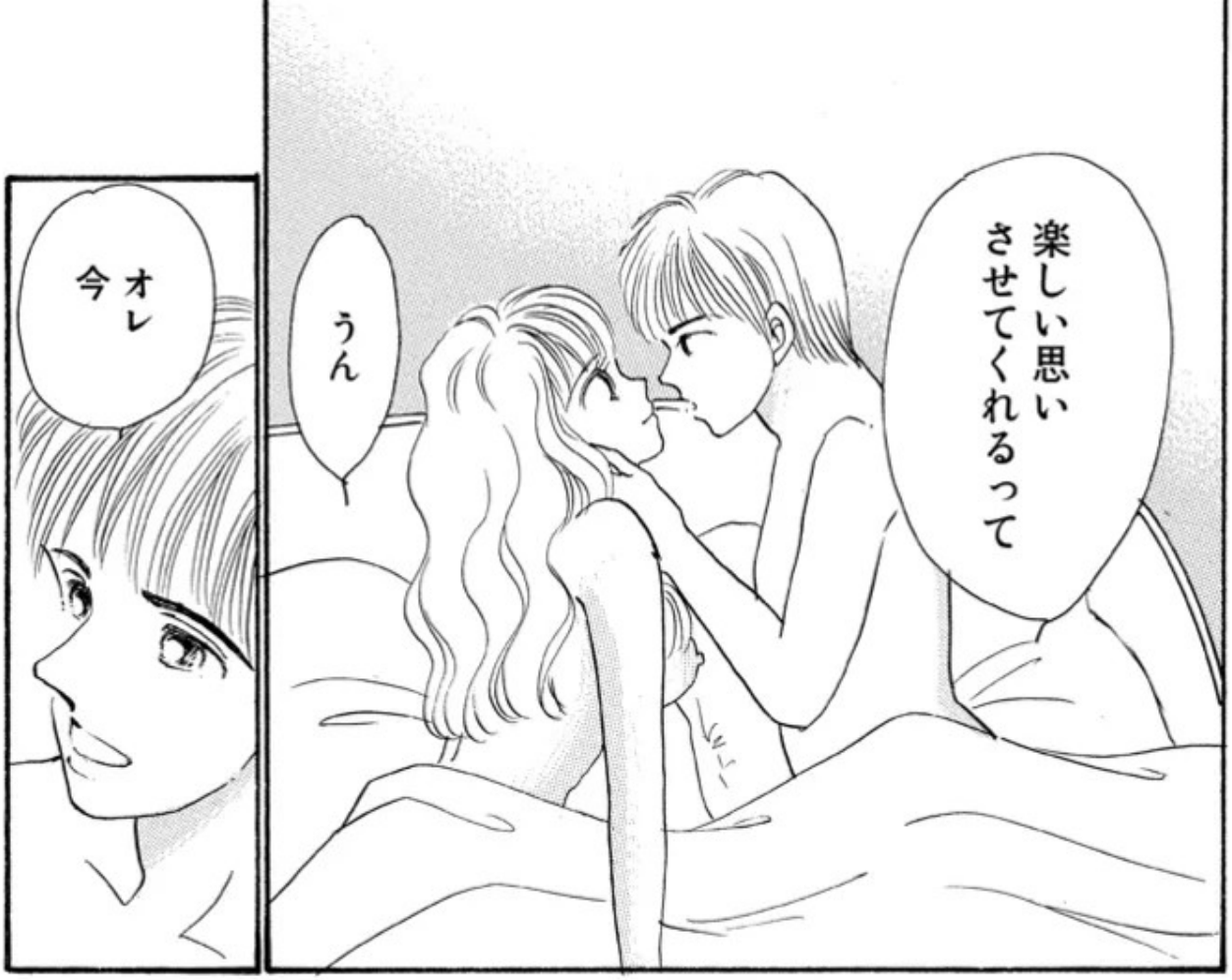

だよね


でも
もう偏見
なくなったよ


本当に
仕事に
一生懸命なコに
会えたから
君に
会えて
よかった
〝好きだ〟
って言ったら
迷惑？
ううん
あのね
あたし


この仕事
始めてから
「本番」って
一度も
してないの
だって
それは
好きな人と
したいから
あ…


あ…
〝アンナ〟ちゃん
君 言ったよね
本名は
〝千里子(ちりこ)〟なの
千里ちゃん


楽しい思い
させてくれるって
うん
オレ
今


すっげー
ハッピー
あたしも
ずっと
ずーっと
続きますように
おわり*

OHZORA Digital Comics

ミッシィコミックス 恋愛白書パステル シリーズ

風俗嬢のオツトメ❤ ～イメクラ編～

著者名　藤沢 めぐみ
ⓒ藤沢 めぐみ
発行者　栗原 真佐子
発行所　(株)宙出版
発行元　〒112-8653
東京都文京区音羽一丁目22番12号　リーフスクエア音羽ビル
電子書籍発行日　2009年11月1日

＊本コンテンツは「風俗嬢のオツトメ❤～イメクラ編～」を基に製作されました。
＊本書の内容を無断で複製・複写・放送・データ配信などをすることは、かたくお断りいたします。

OHZORA
OHZORA PUBLISHING Co.